

次期保健福祉総合計画各論(地域分野)の現状

基本目標 1 : 市民の福祉意識の醸成・人材育成

基本目標 2 : 地域での助け合い・支え合い活動の推進

基本目標 3 : 市民を支えるサービスの確保

基本目標 4 : 安全・安心に暮らせる地域づくり

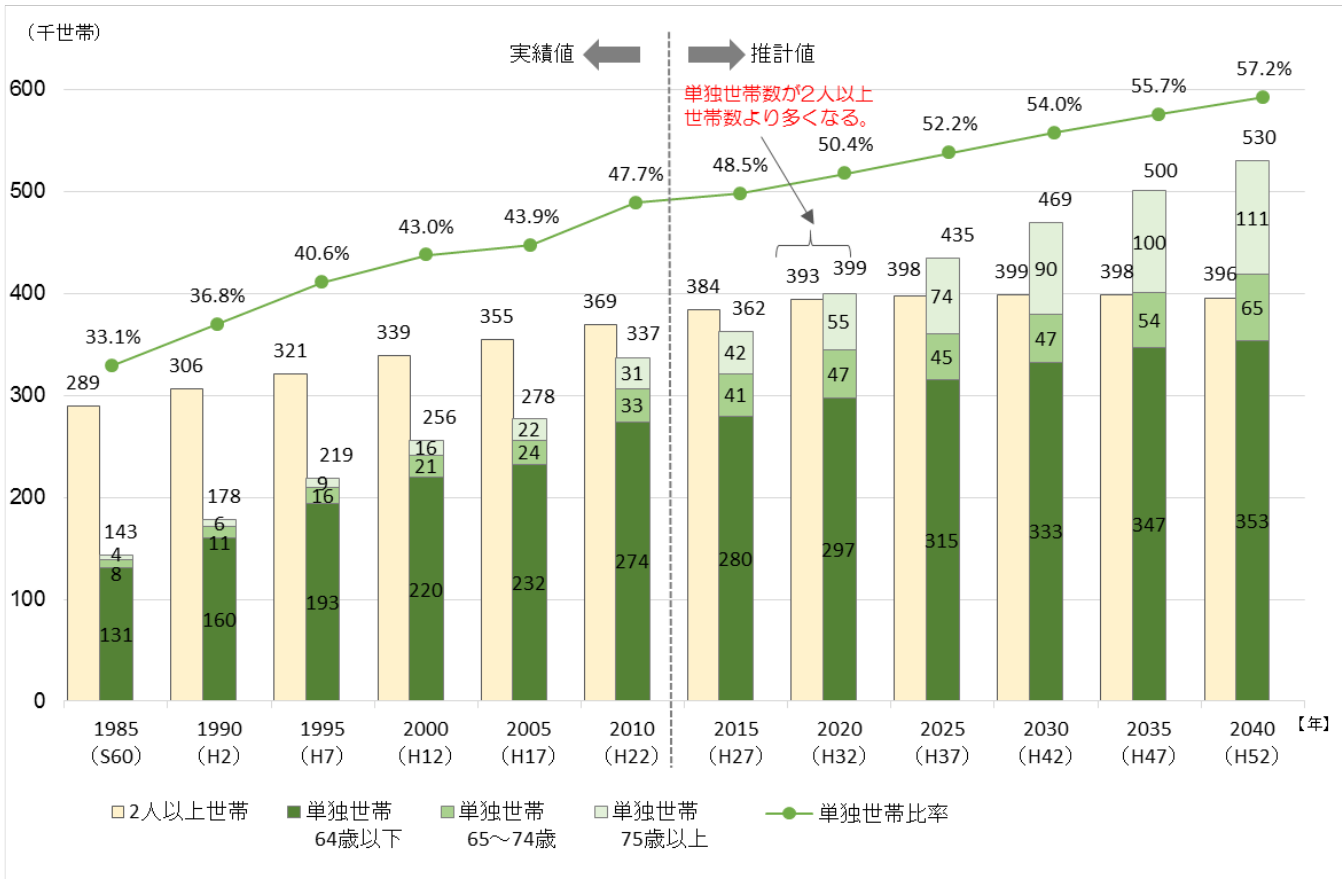
目次

関連する基本目標

			1	2	3	4
○福岡市の単身世帯の実績値及び推計値	...	1	●	●		
○5年間の現住所居住率比較	...	2	●	●		
○近所付き合いの状況	...	3	●	●		
○孤立死の可能性	...	4	●	●		
○孤立死する可能性がある理由	...	5	●	●		
○町内会・自治会への加入状況	...	6	●	●		
○主催・共催している活動や行事の実施状況	...	7	●	●		
○町内会・自治会の活動状況	...	8	●	●		
○地域での助け合い・支え合い活動の参加状況及び参加意向	...	9	●	●		
○若者の地域活動への参加状況	...	10	●	●		
○地域活動の重要性と自治会・町内会の必要性	...	11	●	●		
○民生委員の活動日数及び負担感	...	12	●	●		
○運営や活動にあたっての課題(人材)	...	13	●	●		
○運営や活動にあたっての課題(住民)	...	14	●	●		
○運営や活動にあたっての課題(運営)	...	15	●	●		
○運営や活動を充実させるために必要なこと	...	16	●	●		
○福岡市が取り組む必要があるもの	...	17	●	●	●	
○超高齢社会を目前に控える必要な対応	...	18	●	●	●	
○身近な暮らしの保健福祉について満足している内容	...	19	●	●	●	●
○身近な暮らしの保健福祉について不満がある内容	...	20	●	●	●	●
○身近な保健福祉に関する情報源及びその満足度	...	21			●	
○悩みや不安の有無とその内容	...	22			●	
○悩みや不安についての相談相手	...	23			●	
○被保護実人員及び保護率の推移	...	24			●	
○介護を受けたい場所	...	25			●	
○最期を迎えたい場所	...	26			●	
○住みやすいまちをつくるために力を入れてほしい分野	...	27			●	●
○福岡市のバリアフリーの現状	...	28				●
○高齢者等のための設備がある住宅の割合	...	29				●
○高齢者の入居を断る主な理由	...	30				●

福岡市の単身世帯の実績値及び推計値

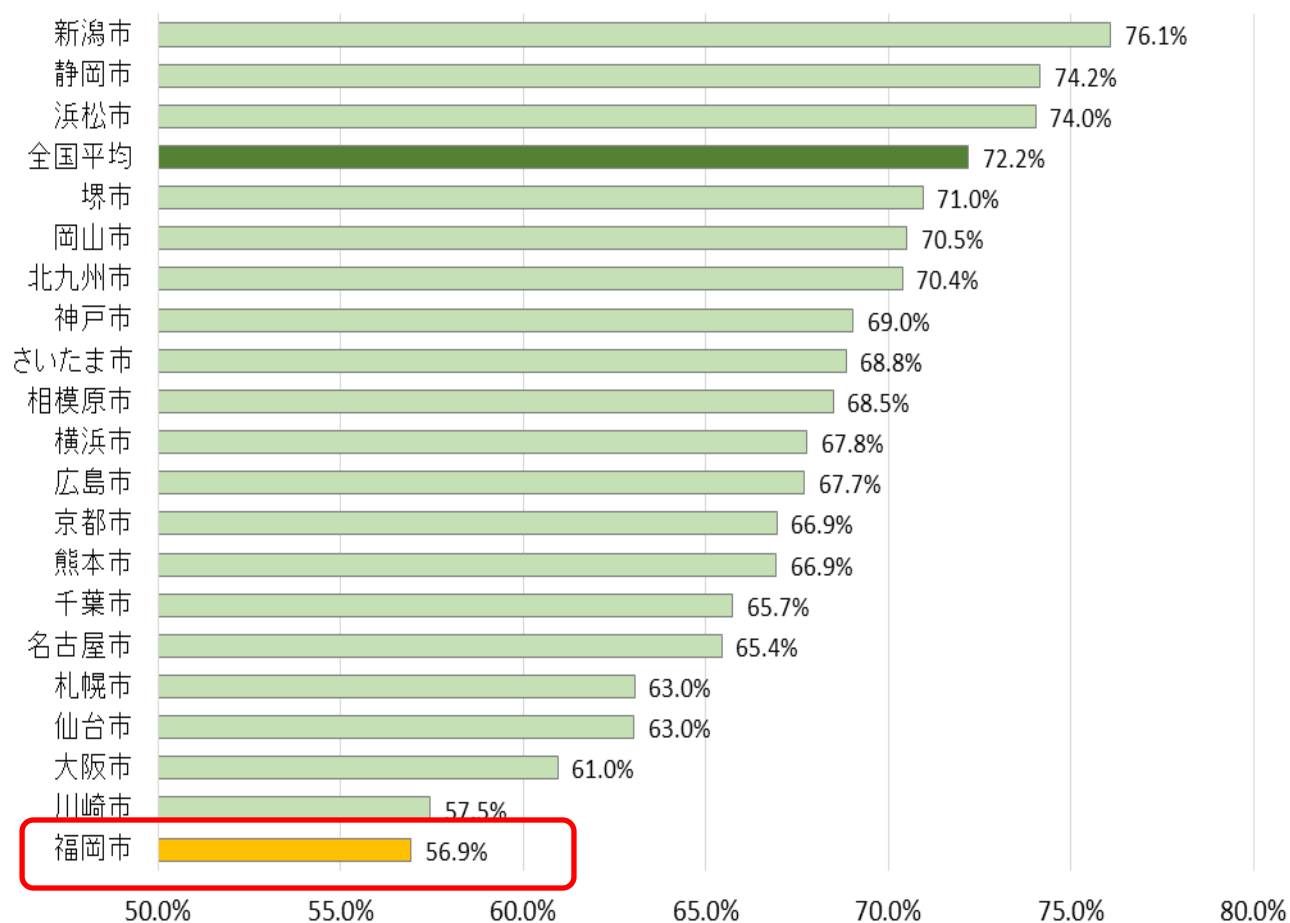
単身世帯は増加しており、平成32年には、全世帯に占める単身世帯の割合が50%を超えると予想されている。



出典：国勢調査〔総務省〕
福岡市の将来推計人口（平成24年3月）〔福岡市〕

5年間の現住所居住率比較

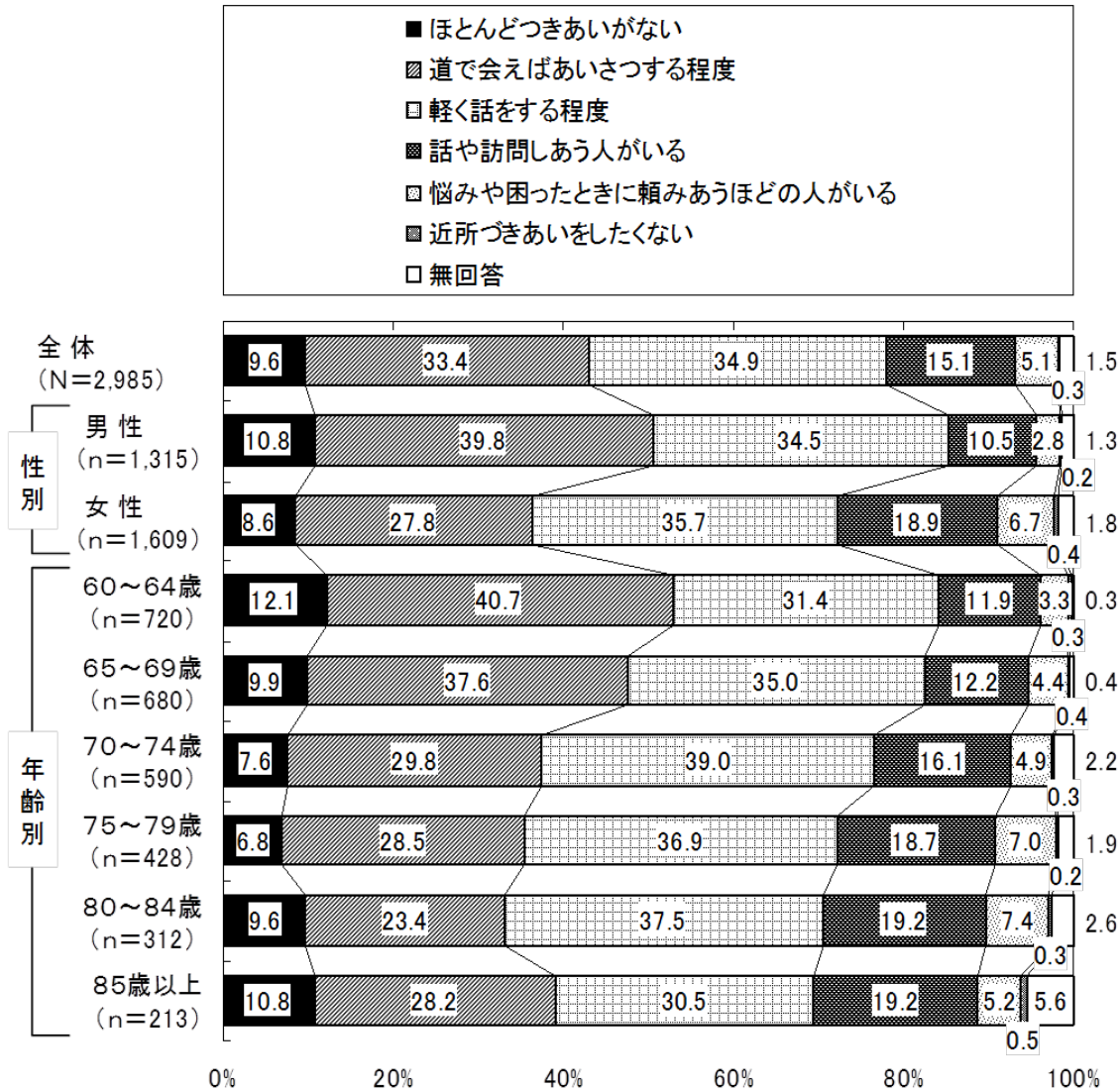
5年間の現住所居住率を比較すると、福岡市は政令市で最も低く、転入・転出が多い都市であると考えられる。



出典) 平成22年国勢調査 [総務省統計局]

近所付き合いの状況

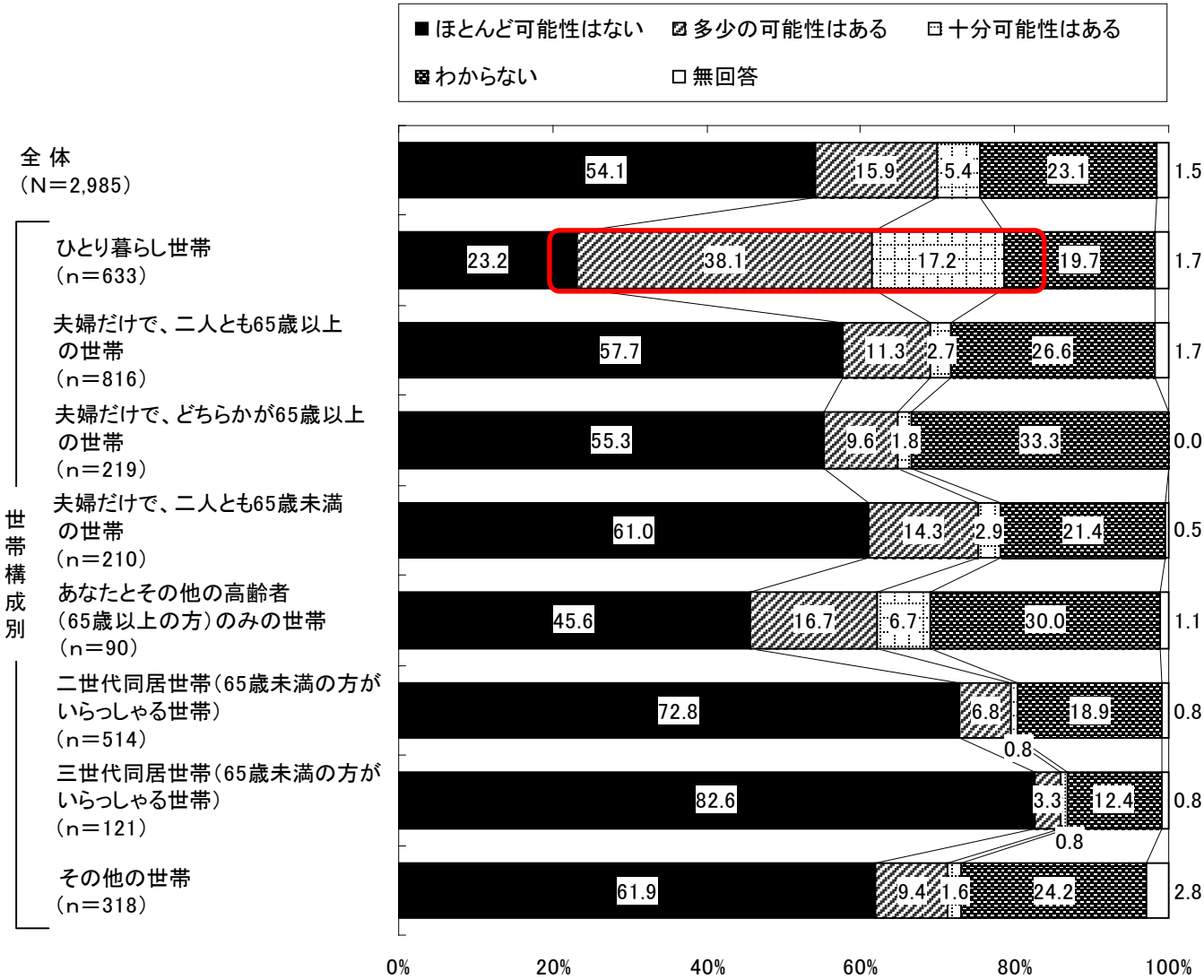
「ほとんどつきあいがない」と「道で会えばあいさつする程度」を合わせた『近所付き合いが少ない人』は43.0%。反対に「話や訪問しあう人がいる」と「悩みや困ったときに頼みあうほどの人がいる」をあわせた『近所付き合いが多い人』は20.2%となっている。



出典：平成25年度福岡市高齢者実態調査 [福岡市]
(注) 調査対象者…60歳以上の市内在住者

孤立死の可能性

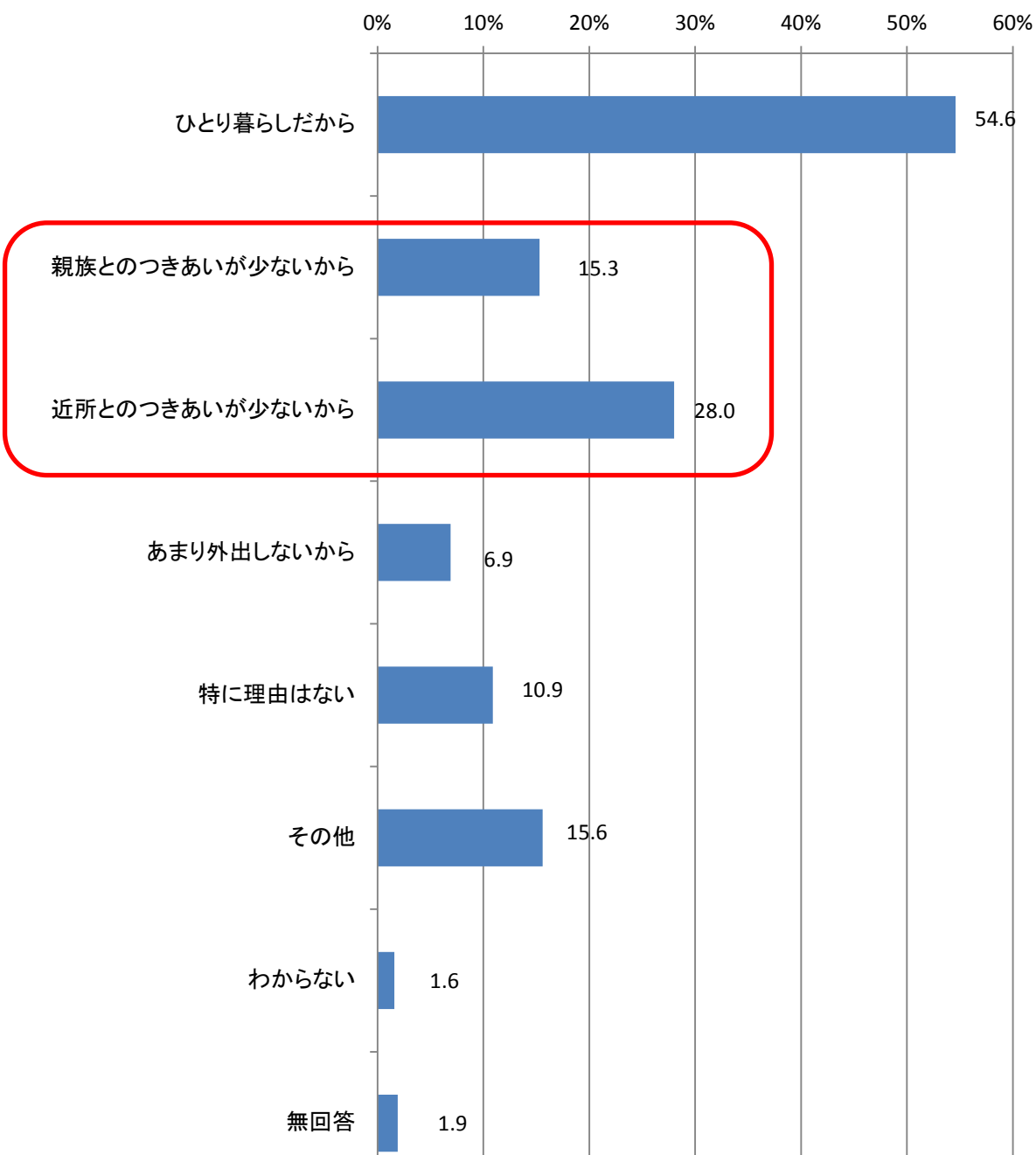
ひとり暮らし世帯で半数以上が『孤立死の可能性はある』と答えている。



出典：平成25年度福岡市高齢者実態調査 [福岡市]
(注) 調査対象者…60歳以上の市内在住者

孤立死する可能性がある理由

孤立死する可能性がある理由として、「ひとり暮らしだから」に次いで、「近所とのつきあいが少ないから」が28.0%、「親族とのつきあいが少ないから」が15.3%となっている。



出典：平成25年度福岡市高齢者実態調査 [福岡市]
(注) 調査対象者…60歳以上の市内在住者

町内会・自治会への加入状況

自治会・町内会に加入している世帯は平均276.3世帯、未加入世帯は平均33.7世帯となっており、加入率は89.1%である。

加入しない理由として、「自分には関係があると思っていない」が58.3%、「隣近所とのつきあいがわずらわしい」が55.5%となっている。

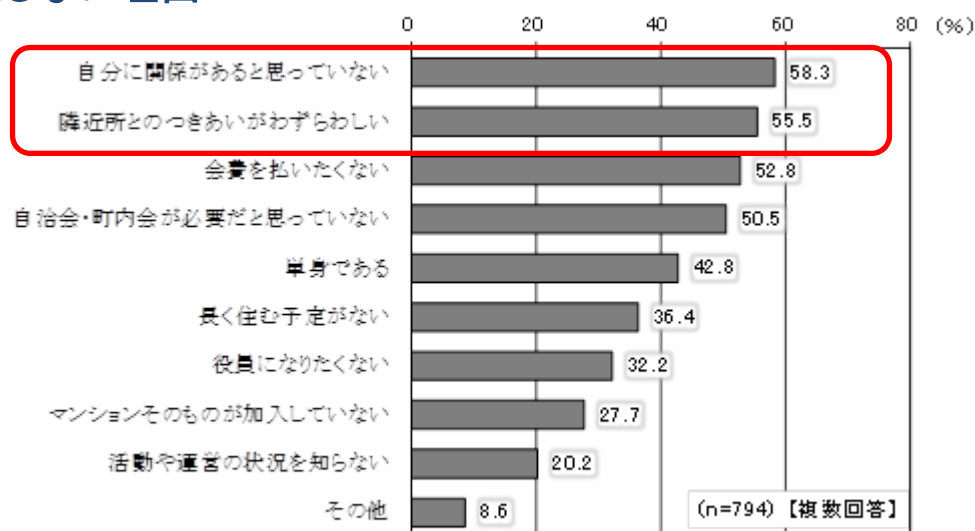
■全自治会・町内会における加入・未加入世帯の平均

	(世帯)							
	全 市	東 区	博多区	中央区	南 区	城南区	早良区	西 区
加入世帯	276.3	224.7	328.8	230.2	355.3	288.9	241.5	293.2
うち集合住宅(ワンルームタイプ)に入居している世帯	36.8	23.3	70.1	51.5	37.0	25.4	23.6	31.1
うち集合住宅(ファミリータイプ・賃貸)に入居している世帯	50.9	37.4	67.5	35.4	67.8	54.6	43.5	58.4
うち集合住宅(ファミリータイプ・分譲)に入居している世帯	42.9	39.2	44.9	51.5	52.7	35.1	36.4	37.5
未加入世帯	33.7	33.9	41.3	30.9	29.1	33.2	27.6	43.7
うち集合住宅(ワンルームタイプ)に入居している世帯	12.9	9.3	22.6	14.4	10.9	18.5	6.4	14.9
うち集合住宅(ファミリータイプ・賃貸)に入居している世帯	8.7	10.4	6.3	6.6	8.0	5.8	10.1	11.7
うち集合住宅(ファミリータイプ・分譲)に入居している世帯	1.7	3.3	1.5	1.2	1.4	0.2	1.3	1.5
回 答 件 数	1,253	260	169	172	204	96	208	144

■未加入世帯がある自治会・町内会における平均

	(世帯)							
	全 市	東 区	博多区	中央区	南 区	城南区	早良区	西 区
未加入世帯	53.2	56.8	69.1	53.7	41.5	53.1	41.0	65.6
うち集合住宅(ワンルームタイプ)に入居している世帯	20.4	15.6	37.8	25.0	15.5	29.6	9.5	22.3
うち集合住宅(ファミリータイプ・賃貸)に入居している世帯	13.7	17.5	10.6	11.5	11.4	9.4	15.0	17.6
うち集合住宅(ファミリータイプ・分譲)に入居している世帯	2.7	5.6	2.5	2.1	2.1	0.3	2.0	2.2
回 答 件 数	794	155	101	99	143	60	140	96

■加入しない理由



出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕

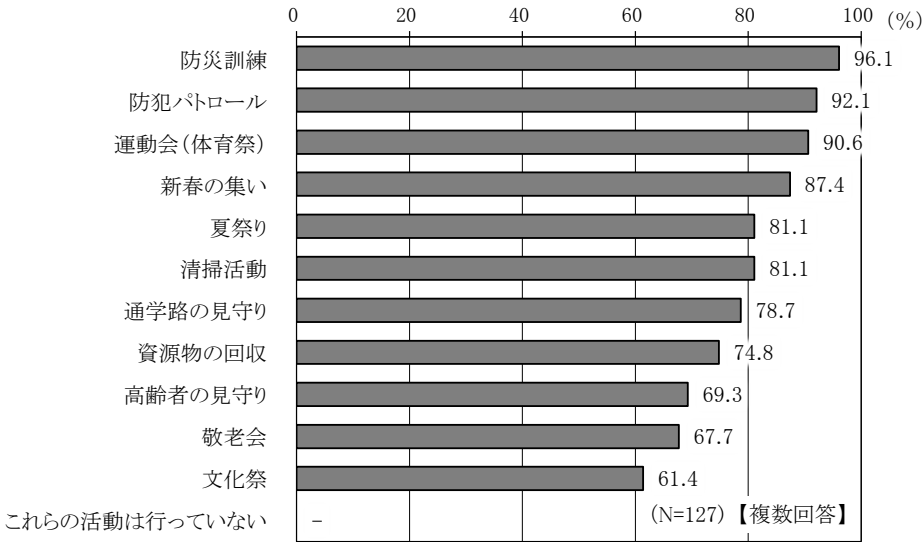
(注1) 自治協議会等…自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）

(注2) 図表中の値は、全市での割合

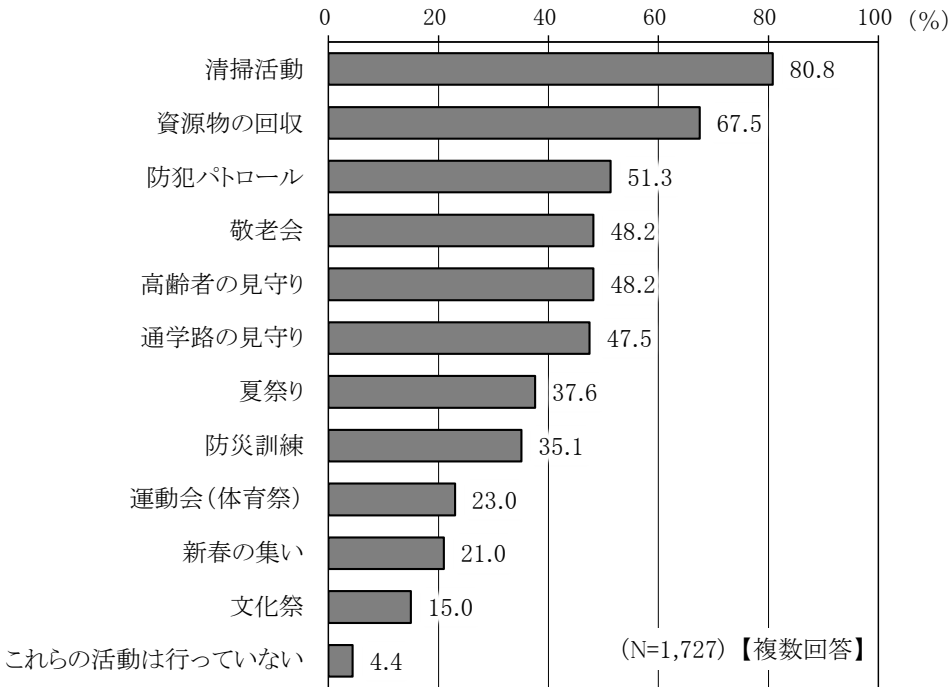
主催・共催している活動や行事の実施状況

自治協議会等や自治会・町内会では、防犯パトロールや清掃活動など、さまざまな活動が実施されている。

■自治協議会等



■自治会・町内会

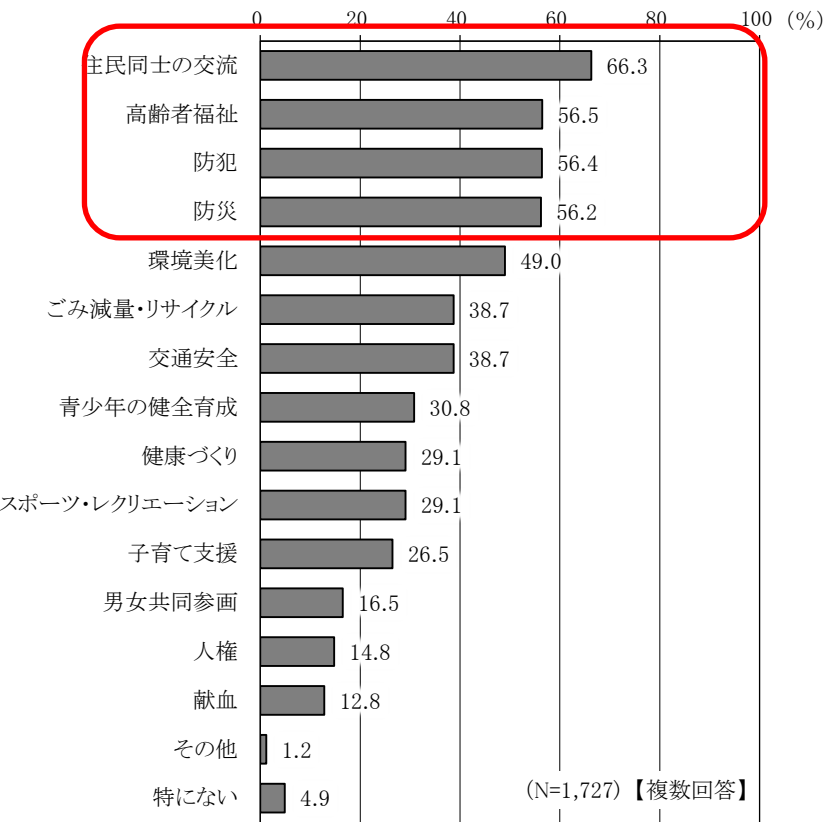


出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕
(注1) 自治協議会等…自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）
(注2) 図表中の値は、全市での割合

自治会・町内会の活動状況

今後、住民同士の交流や高齢者福祉，防犯，防災などに積極的に取り組みたいと答えている。

■ 今後，積極的に取り組みたい分野

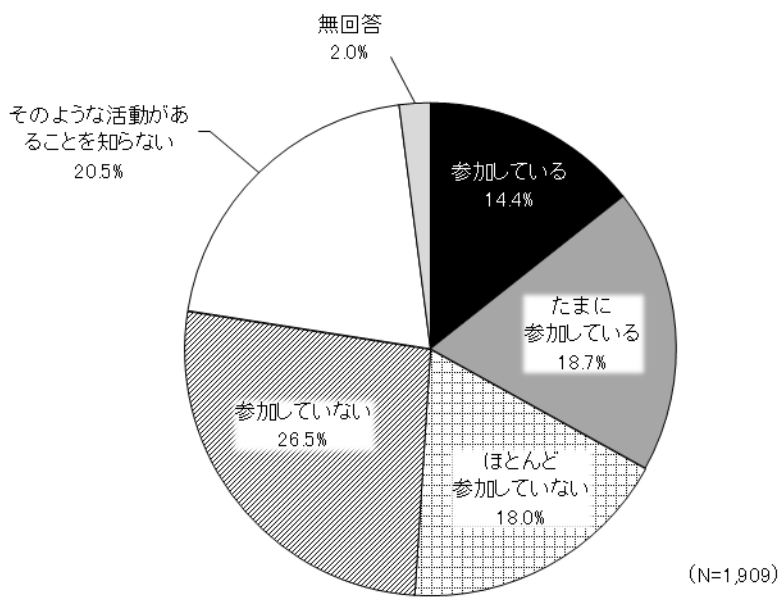


出典：平成26年度自治協議会・自治会等
アンケート報告書 [福岡市]
(注)図表中の値は，全市での割合

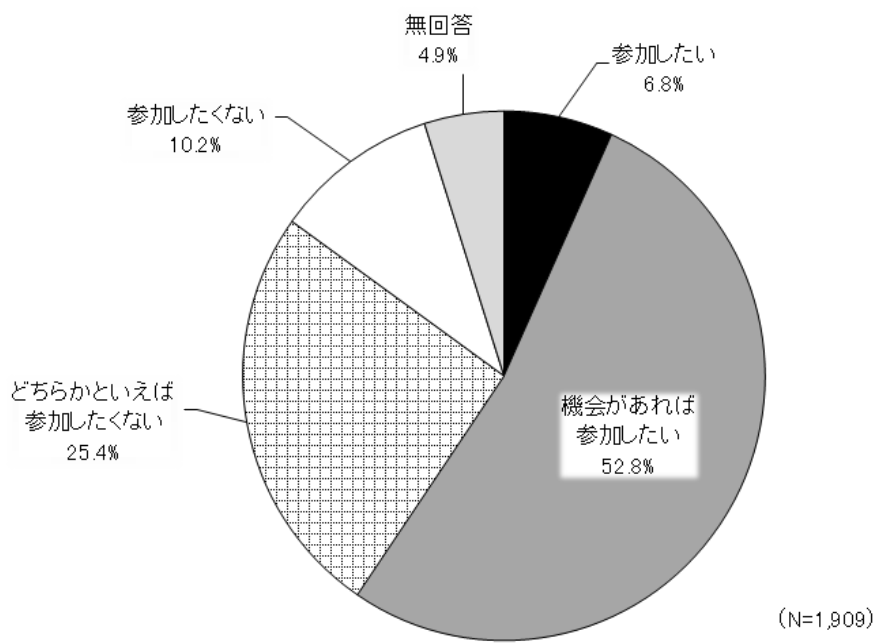
地域での助け合い・支え合い活動の参加状況及び参加意向

地域活動に『参加したい』、『機会があれば参加したい』と考えている人は、5割を超える一方で、実際に『参加している』、『たまに参加している』人は3割程度となっている。

■住民参加による地域での助け合い、支え合い活動への参加状況



■住民参加による地域での助け合い、支え合い活動への参加意向

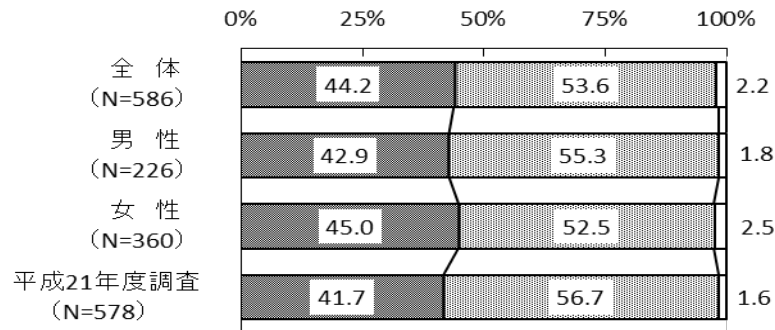


出典：福岡市保健福祉総合計画策定等にかかる市民意識調査（平成26年12月）[福岡市]

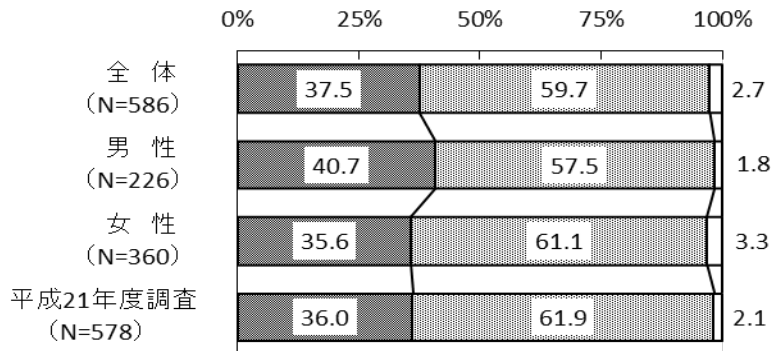
若者の地域活動への参加状況

特に若者については、「高齢者や障がい者のための福祉に関する活動」について、8割を超える人が「経験なし」と答えている。

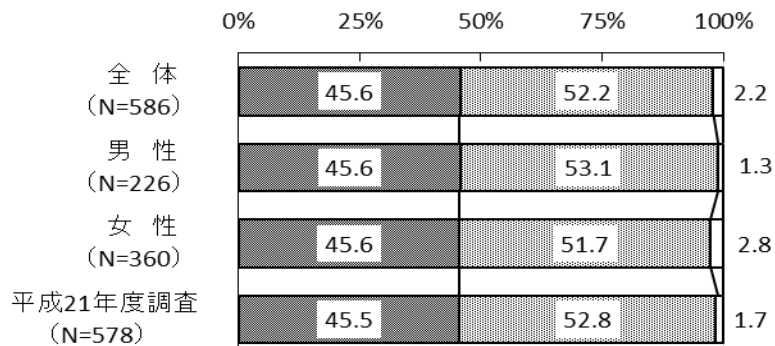
(ア)子ども会や公民館などでの活動



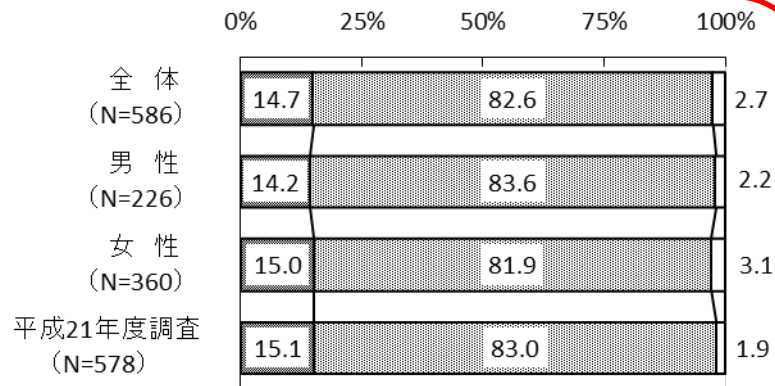
(イ)体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り



(ウ)地域の環境美化や資源物回収(リサイクル)に関する活動



(エ)高齢者や障がい者のための福祉に関する活動



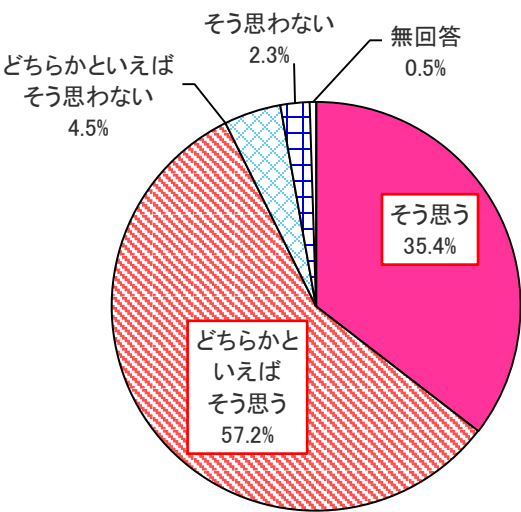
■ 経験あり ■ 経験なし □ 無回答

出典：子ども・子育て支援に関するニーズ調査（平成26年3月）[福岡市]
（注）調査対象者：18～30歳までの男女586名

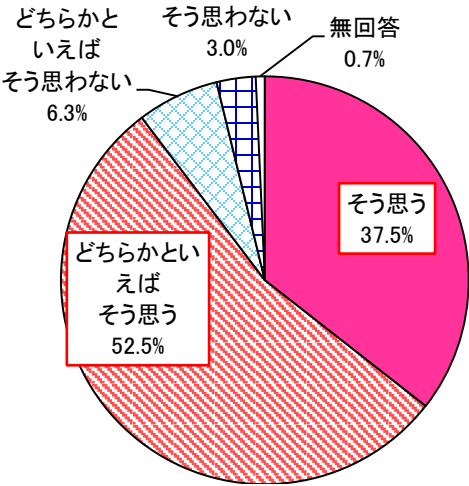
地域活動の重要性と自治会・町内会の必要性

地域活動が大切だと思っている人、自治会・町内会は必要だと思っている人は、『そう思う』、『どちらかといえばそう思う』をあわせるといずれも9割を超えている。

《地域活動は大切だと思うか》



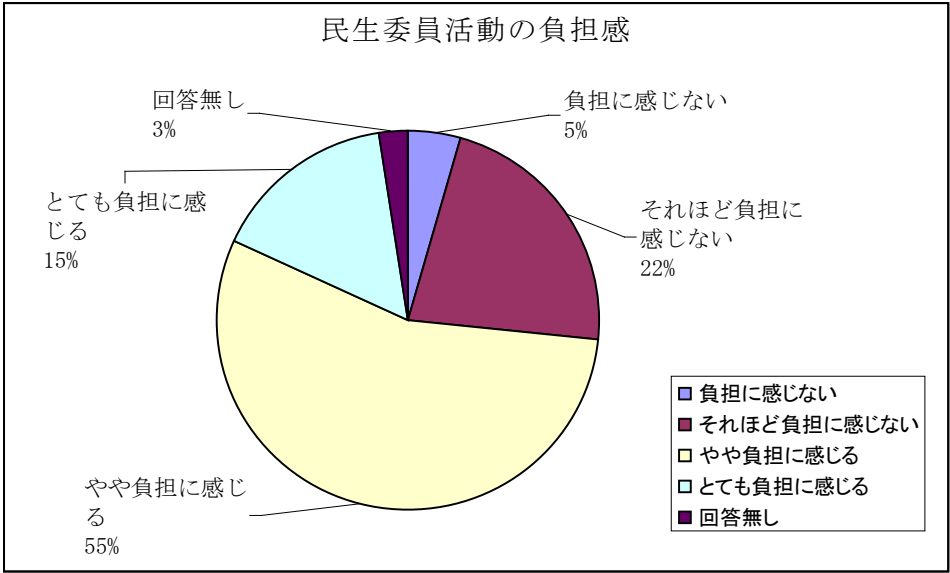
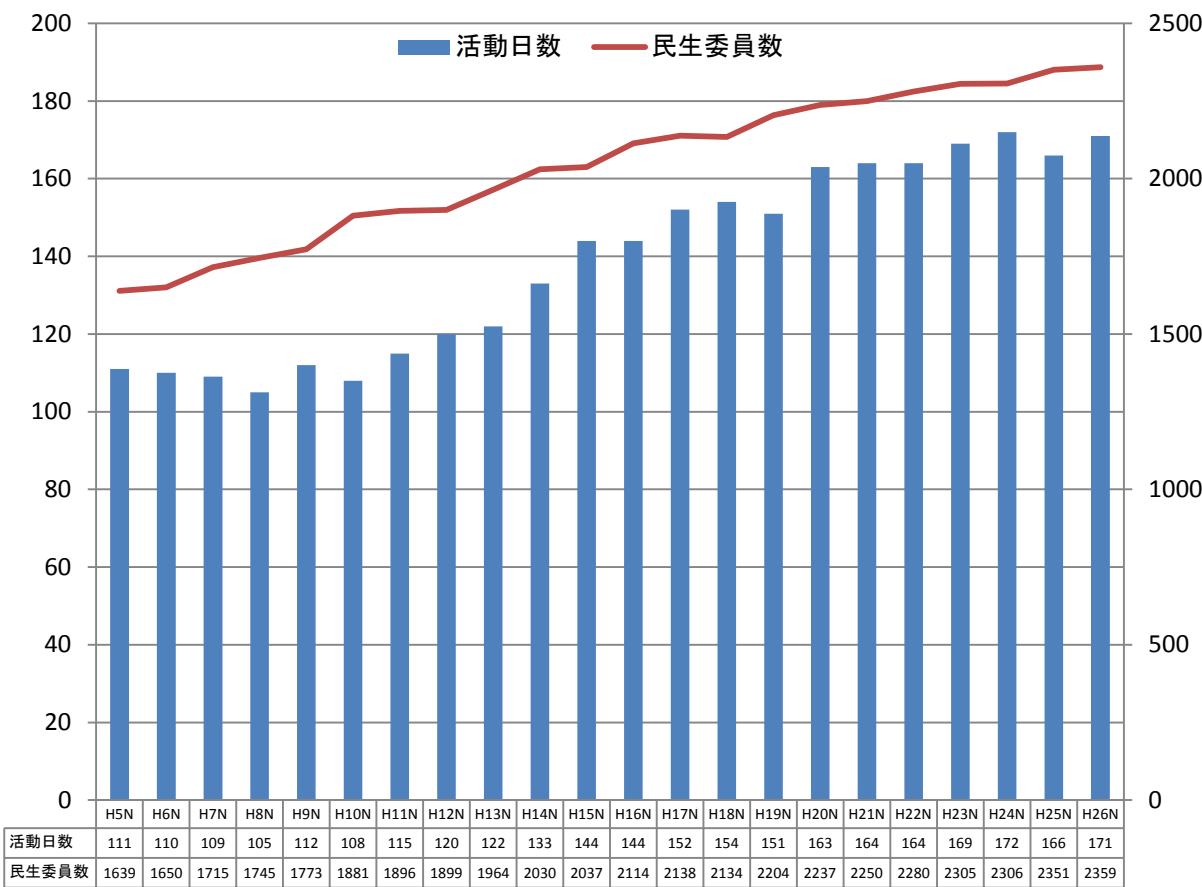
《自治会・町内会は必要だと思うか》



出典) 平成26年度市政アンケート調査

民生委員の活動日数及び負担感

民生委員の活動日数は、年々増加しており、民生委員活動を負担に感じている人も多い。

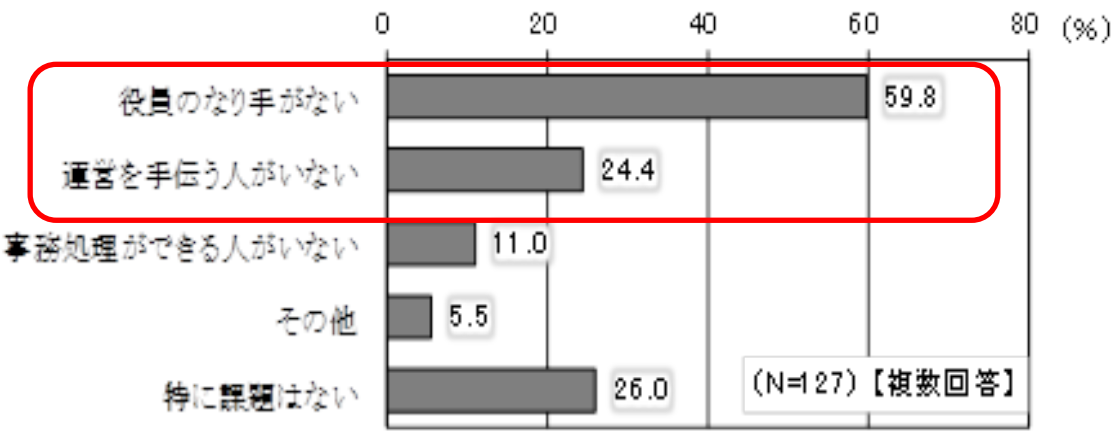


出典) 平成24年度民生委員・児童委員に対するアンケート

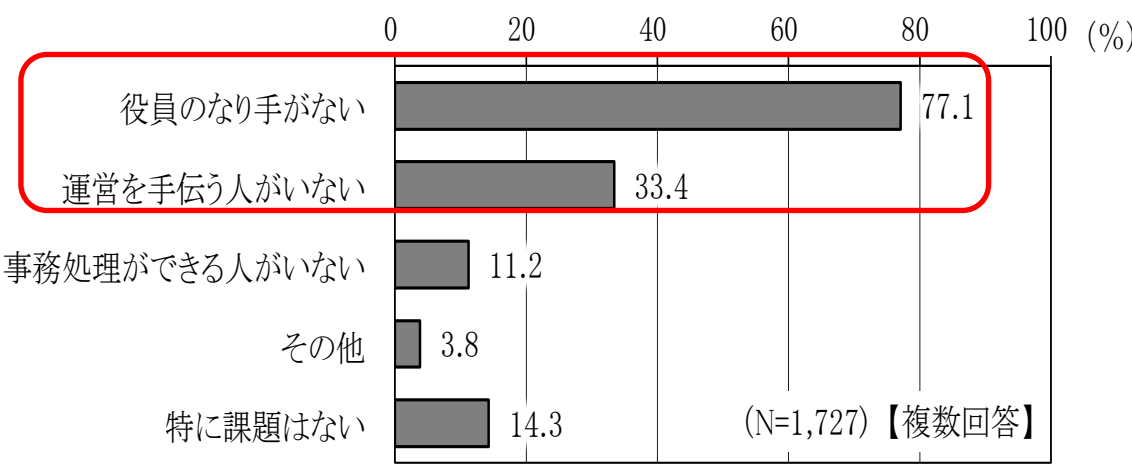
運営や活動にあたっての課題(人材)

地域活動を担う人材が不足している。

■自治協議会等



■自治会・町内会

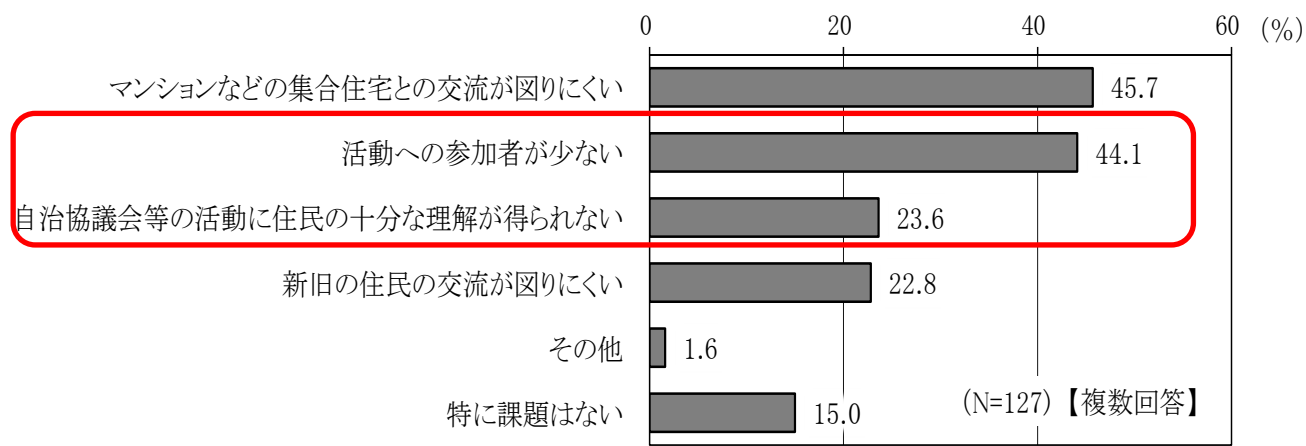


出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕
(注1) 自治協議会等…自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）
(注2) 図表中の値は、全市での割合

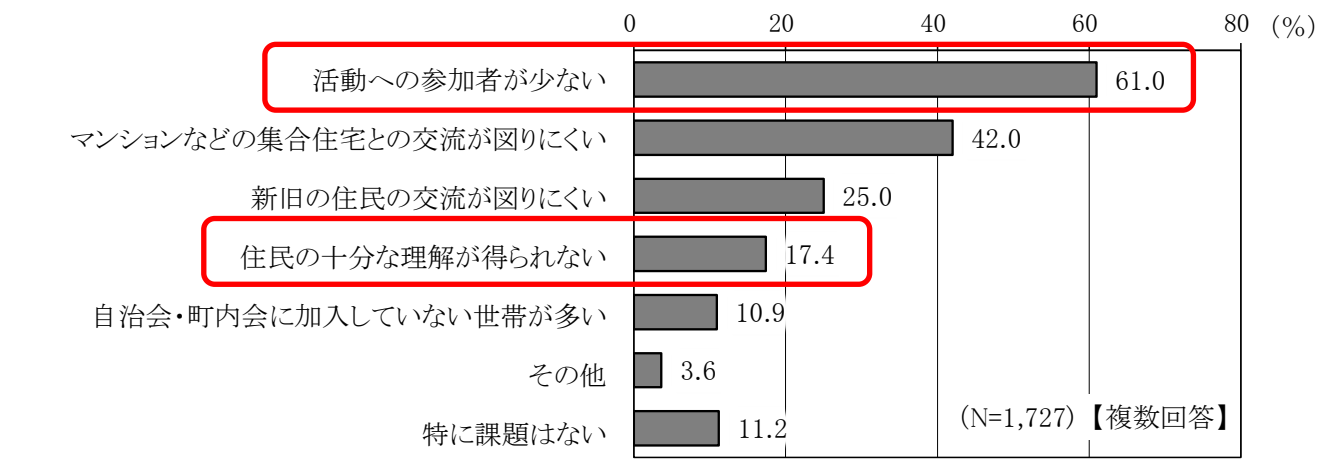
運営や活動にあたっての課題(住民)

「活動の参加者が少ない」や「住民の十分な理解が得られない」などの課題がある。

■自治協議会等



■自治会・町内会

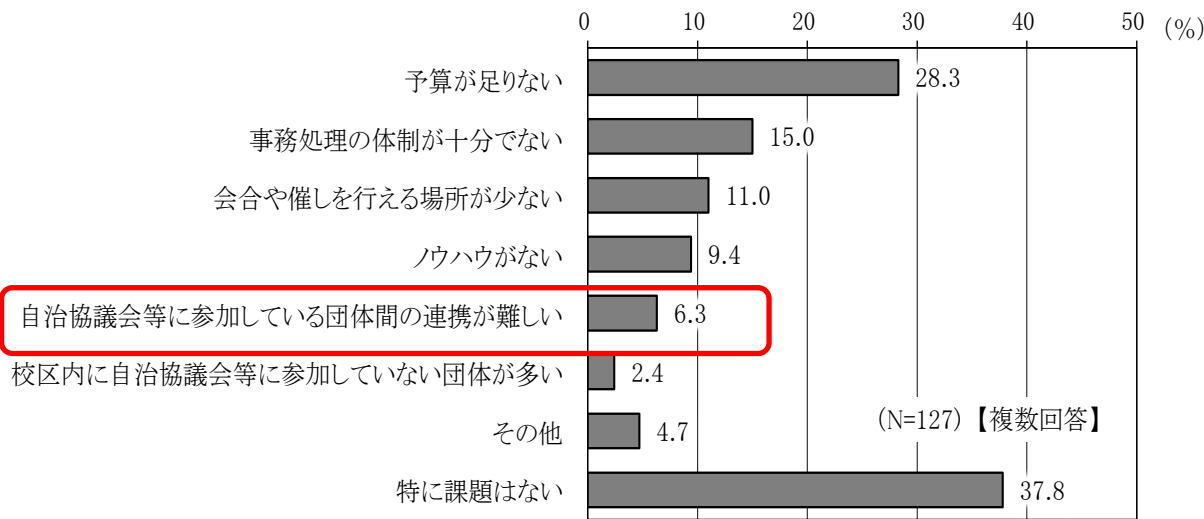


出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕
(注1) 自治協議会等…自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）
(注2) 図表中の値は、全市での割合

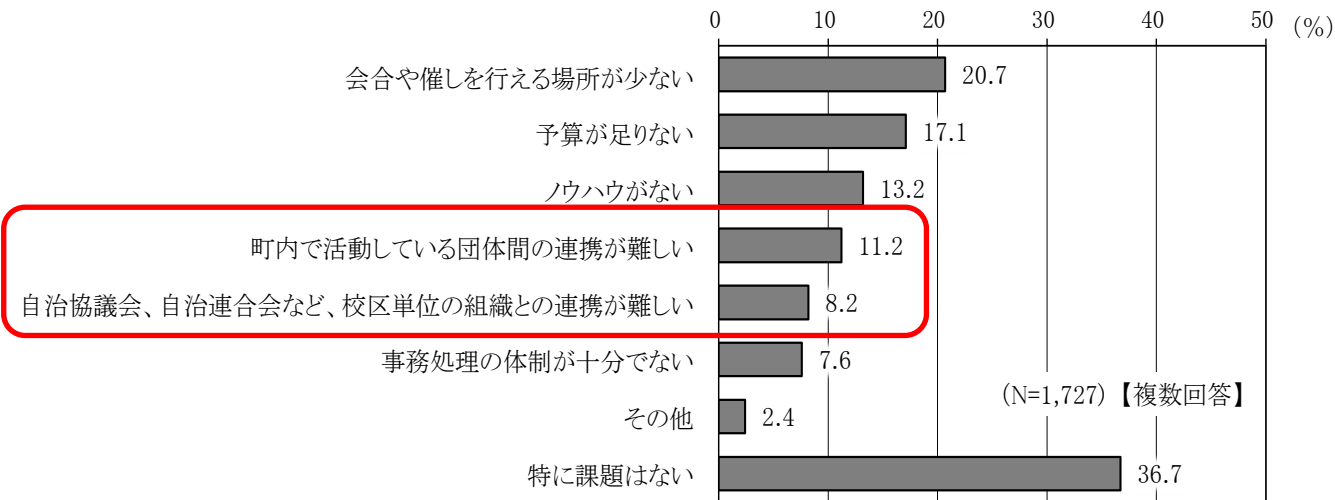
運営や活動にあたっての課題(運営)

運営にあたって、「自治協議会等の参加している団体間の連携」や「町内で活動している団体間の連携」が難しいとの課題がある。

■自治協議会等



■自治会・町内会

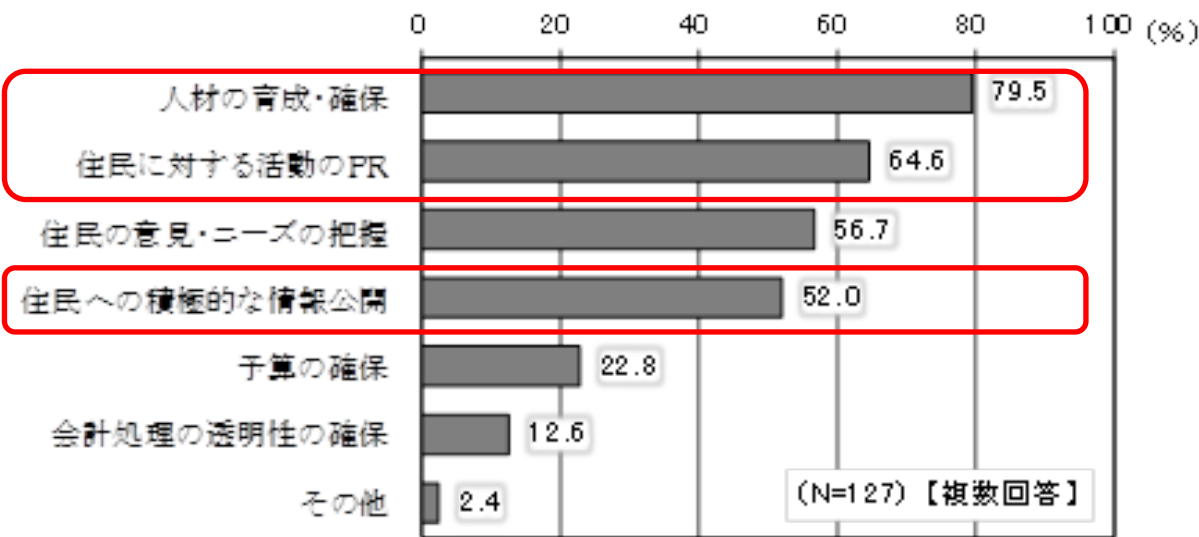


出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕
(注1) 自治協議会等…自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）
(注2) 図表中の値は、全市での割合

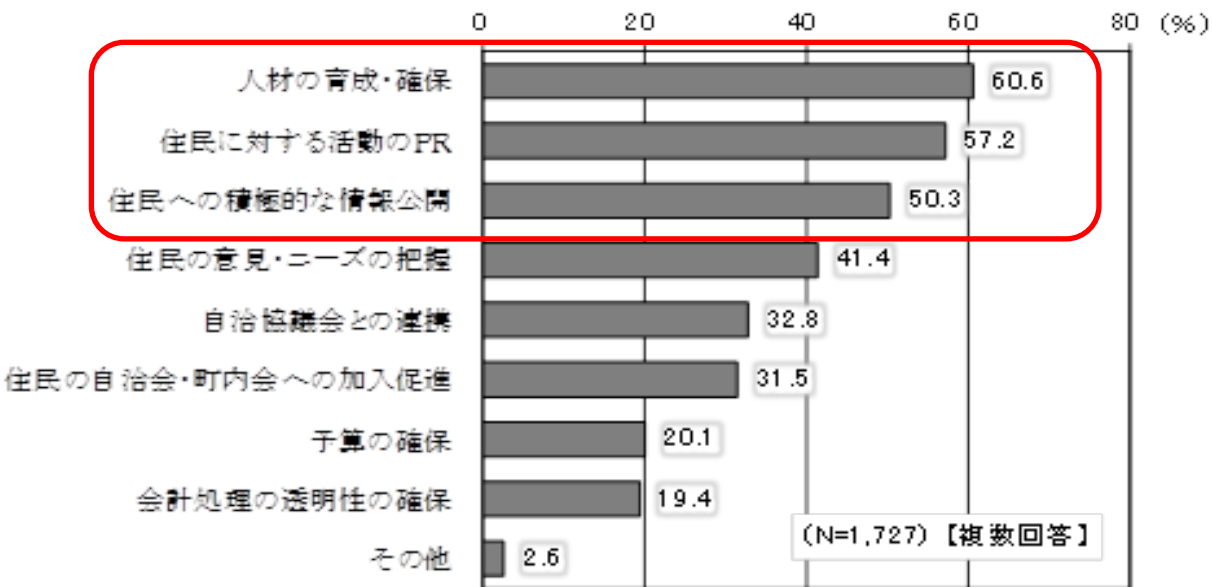
運営や活動を充実させるために必要なこと

「人材の育成・確保」のほか、「住民に対する活動のPR」「住民への積極的な情報公開」など、広報や情報公開についても、充実させる必要があると考えられている。

自治協議会等



自治会・町内会

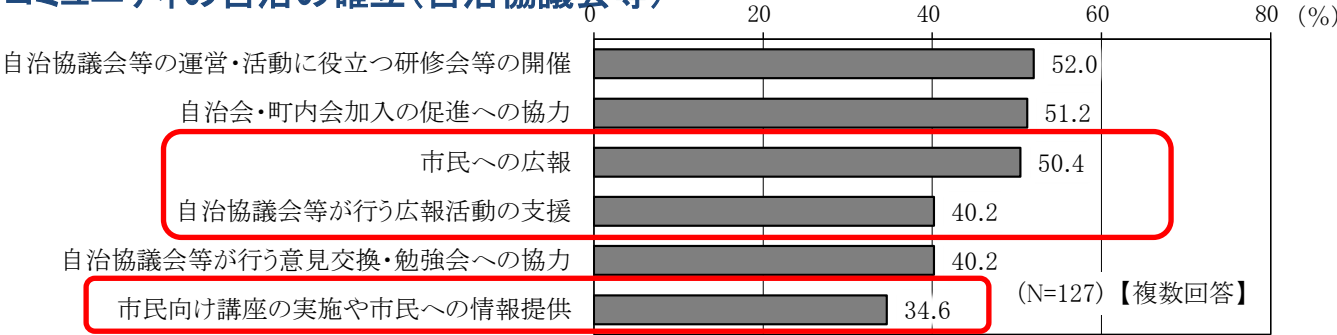


出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕
(注1) 自治協議会等…自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）
(注2) 図表中の値は、全市での割合

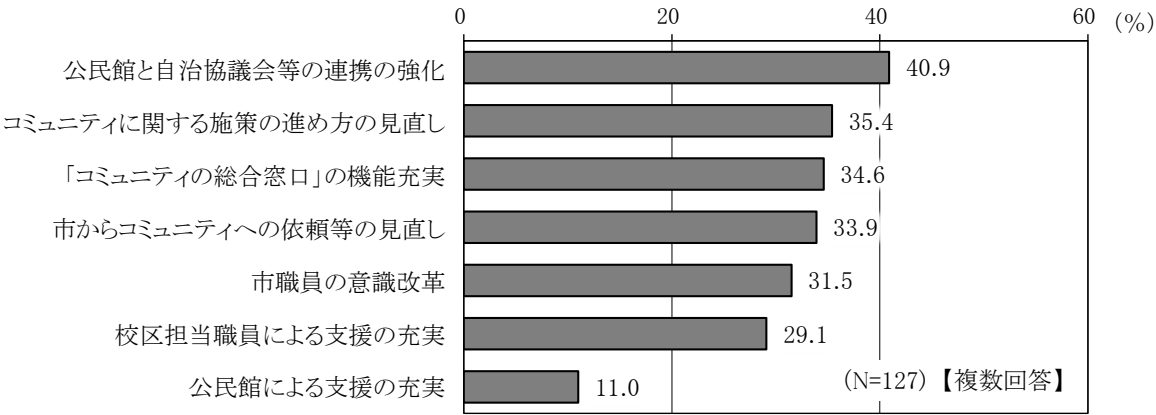
福岡市が取り組む必要があるもの

「市民への広報」、「情報の提供」、「地域活動に関する市民の意識啓発」「住民が地域活動に参加するきっかけづくり」などが要望されている。

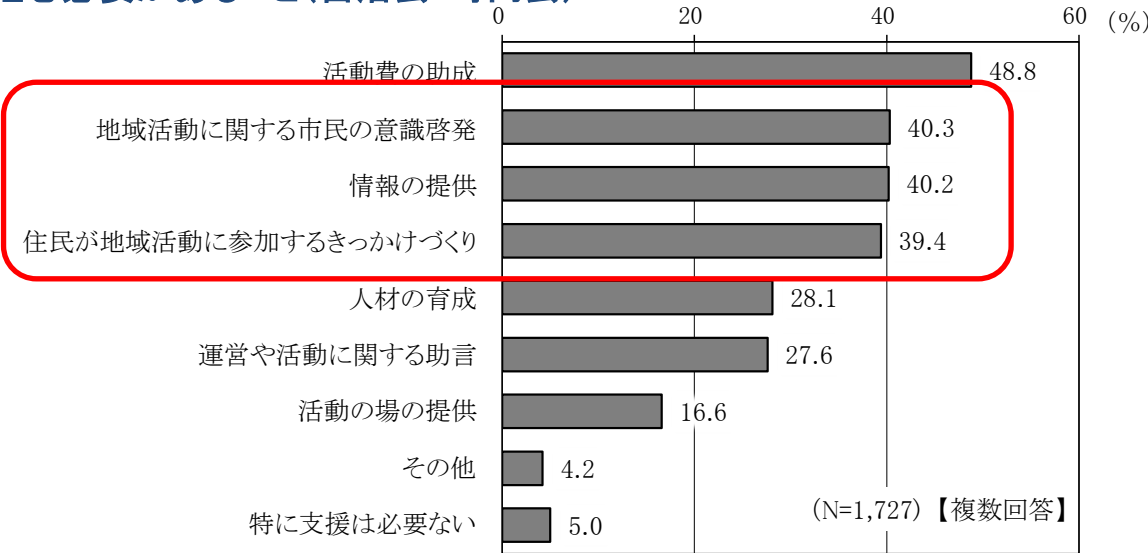
■コミュニティの自治の確立(自治協議会等)



■コミュニティと市の共働(自治協議会等)



■行政が取り組む必要があること(自治会・町内会)



出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕

(注1) 自治協議会等…

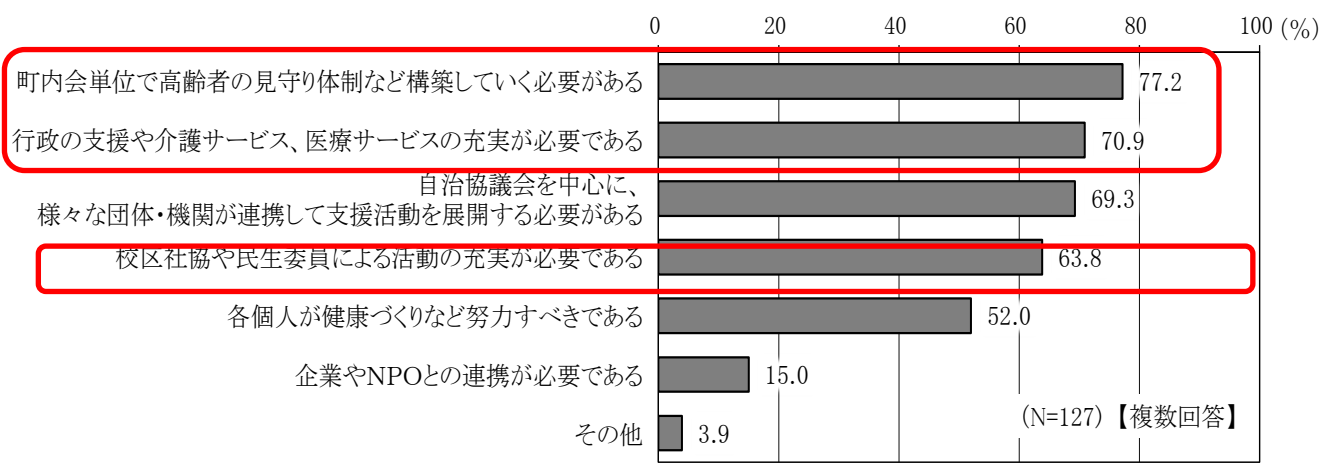
自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）

(注2) 図表中の値は、全市での割合

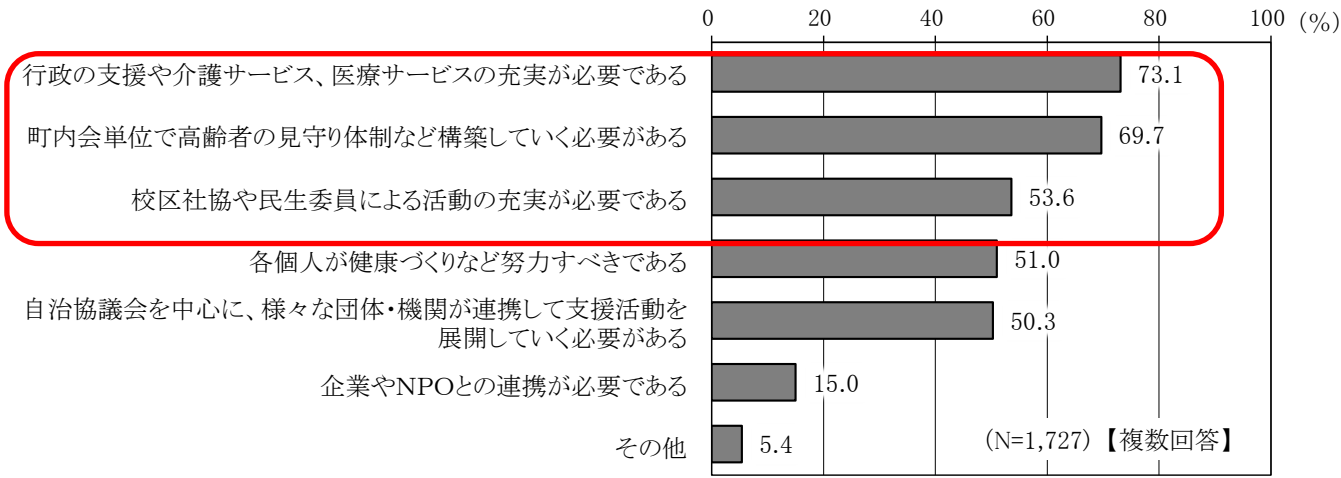
超高齢社会を目前に控え必要な対応

今後、「高齢者の見守り体制の構築」や「行政の支援や介護サービス、医療サービスの充実」、「校区社協や民生委員による活動の充実」が必要であると考えられている。

■自治協議会等



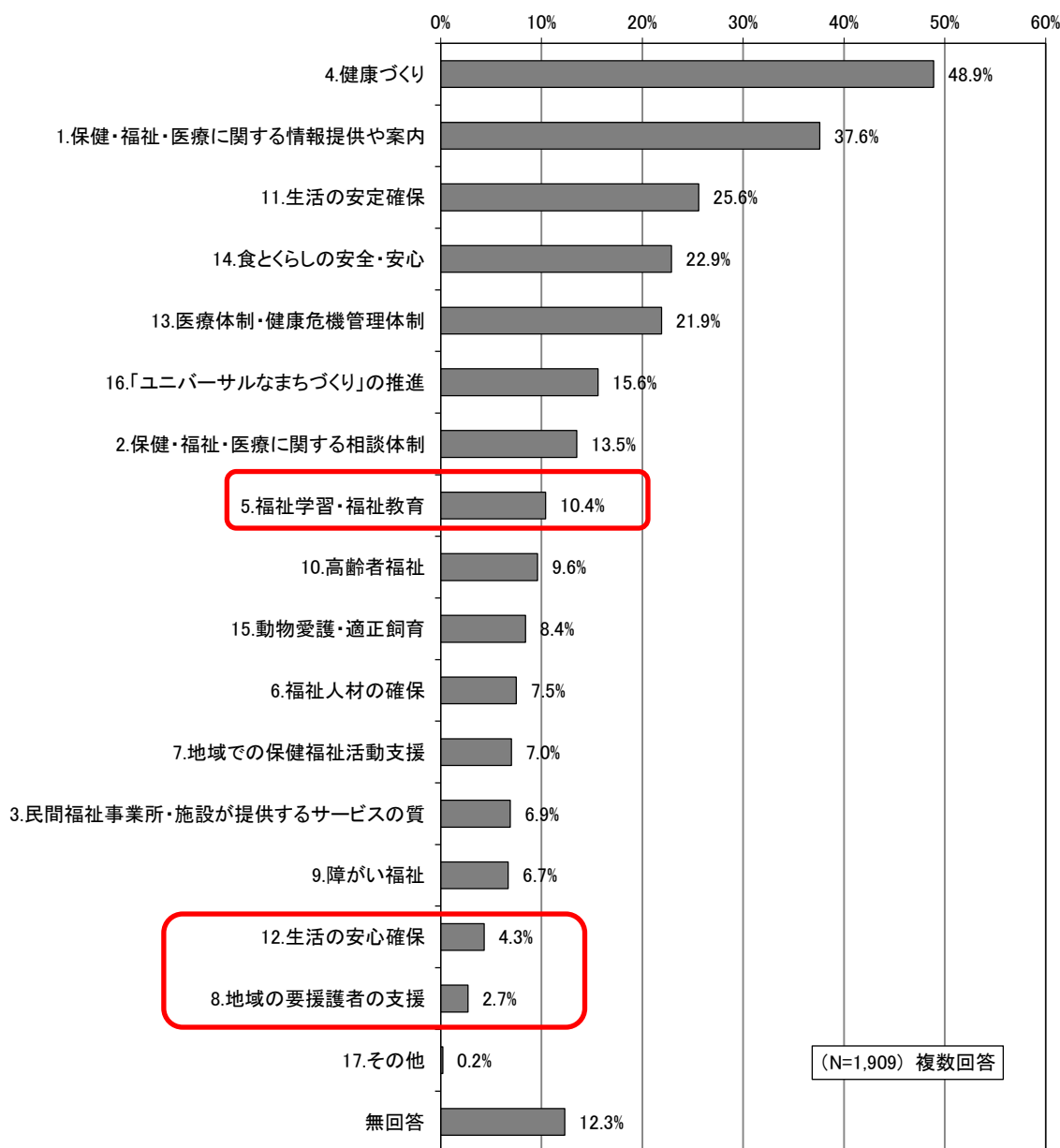
■自治会・町内会



出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕
(注1) 自治協議会等…自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）
(注2) 図表中の値は、全市での割合

身近な暮らしの保健福祉について満足している内容

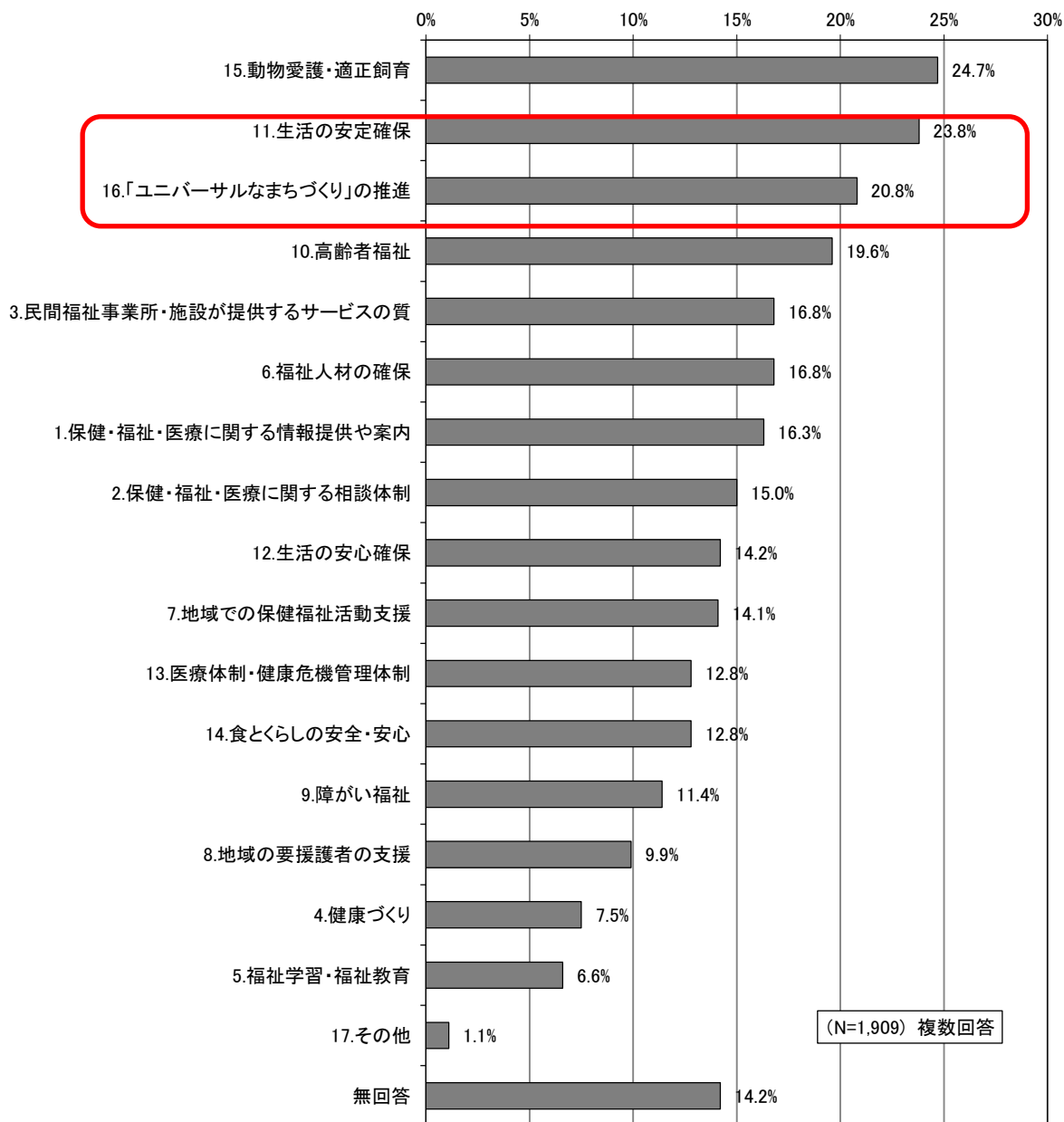
「地域の要援護者の支援」、「生活の安心確保」について、満足度が低い。
また、「福祉学習・福祉教育」についても満足度は10.4%と比較的低い。



出典：福岡市保健福祉総合計画策定等にかかる市民意識調査（平成26年12月）[福岡市]

身近な暮らしの保健福祉について不満がある内容

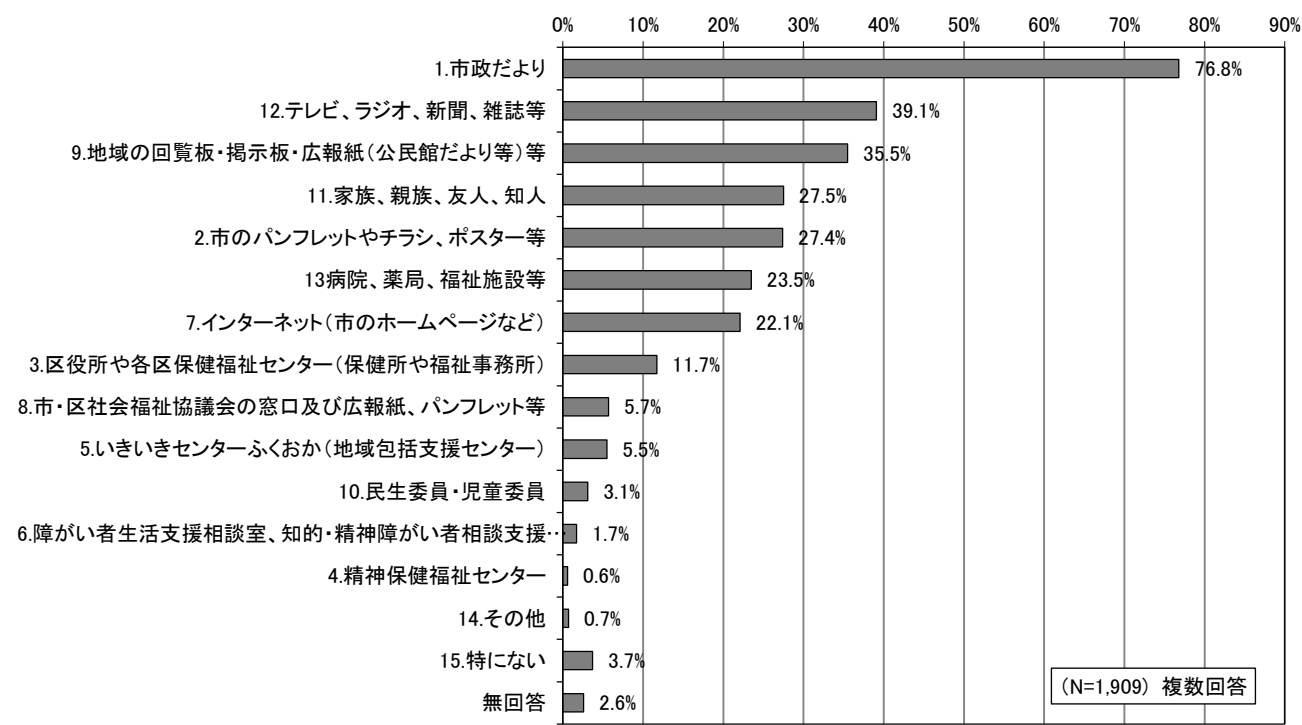
「生活の安定確保」、「ユニバーサルなまちづくりの推進」について、不満が高い。



出典：福岡市保健福祉総合計画策定等にかかる市民意識調査（平成26年12月）[福岡市]

身近な保健福祉に関する情報源及びその満足度

情報源は、多種多様であり、中でも「市政だより」や「地域の回覧板・掲示板・広報紙」によるものが、満足度が高い。

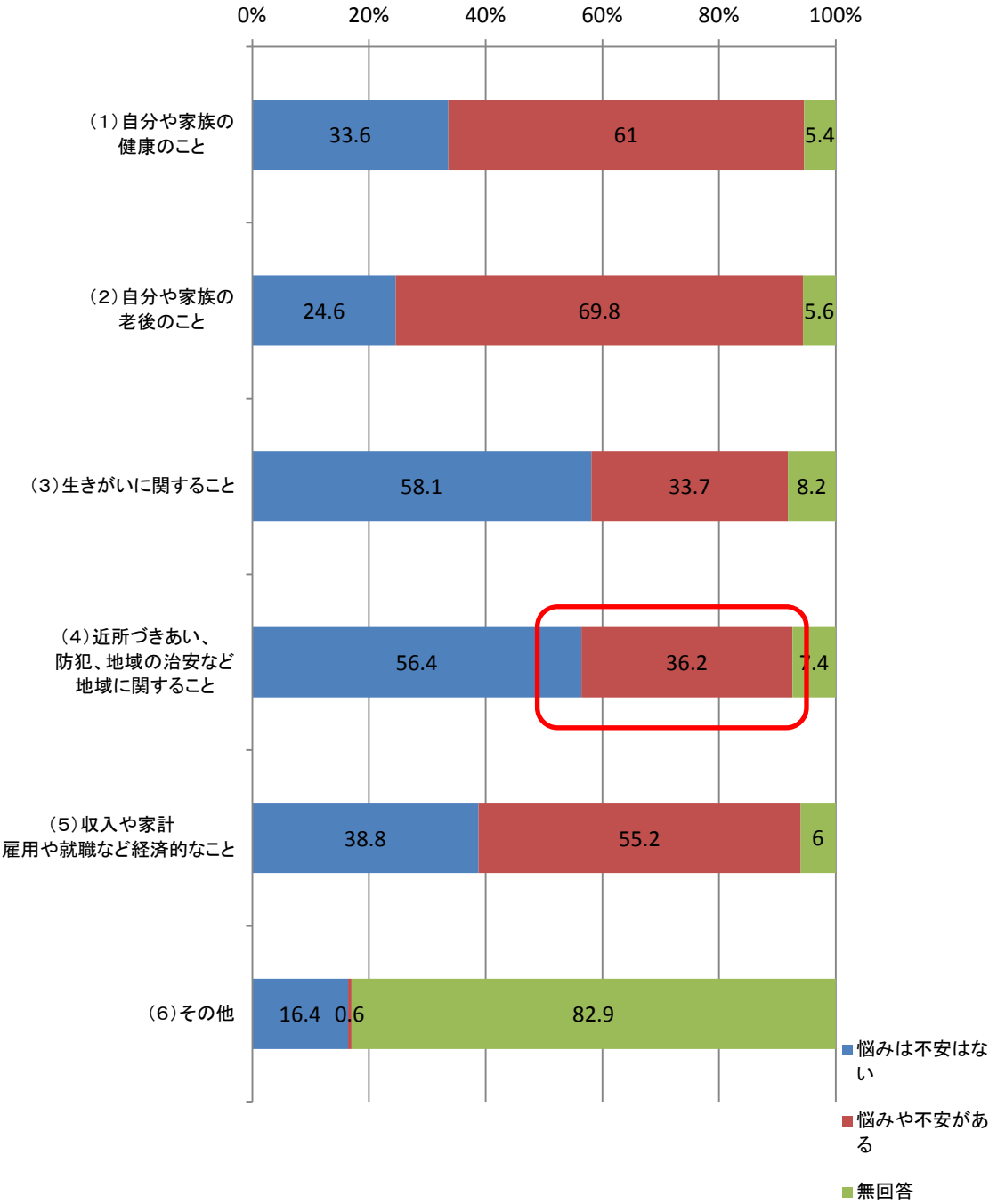


「満足している」+「どちらかといえば満足している」		
1	(1) 市政だより	78.0%
2	(9) 地域の回覧板・掲示板・広報紙	55.2%
3	(2) 市のパンフレットやチラシ・ポスター等	53.9%
4	(1 2) ラジオ、テレビ、新聞、雑誌等	51.5%
5	(1 1) 家族、親族、友人、知人からの情報	50.2%
「不満である」+「どちらかといえば不満である」		
1	(3) 区役所や各区保健福祉センター	14.2%
2	(1 2) ラジオ、テレビ、新聞、雑誌等	14.1%
3	(1 3) 病院、薬局、福祉施設等	13.8%
4	(9) 地域の回覧板・掲示板・広報紙	13.7%
5	(2) 市のパンフレットやチラシ・ポスター等	11.6%

出典：福岡市保健福祉総合計画策定等にかかる市民意識調査（平成26年12月）[福岡市]

悩みや不安の有無とその内容

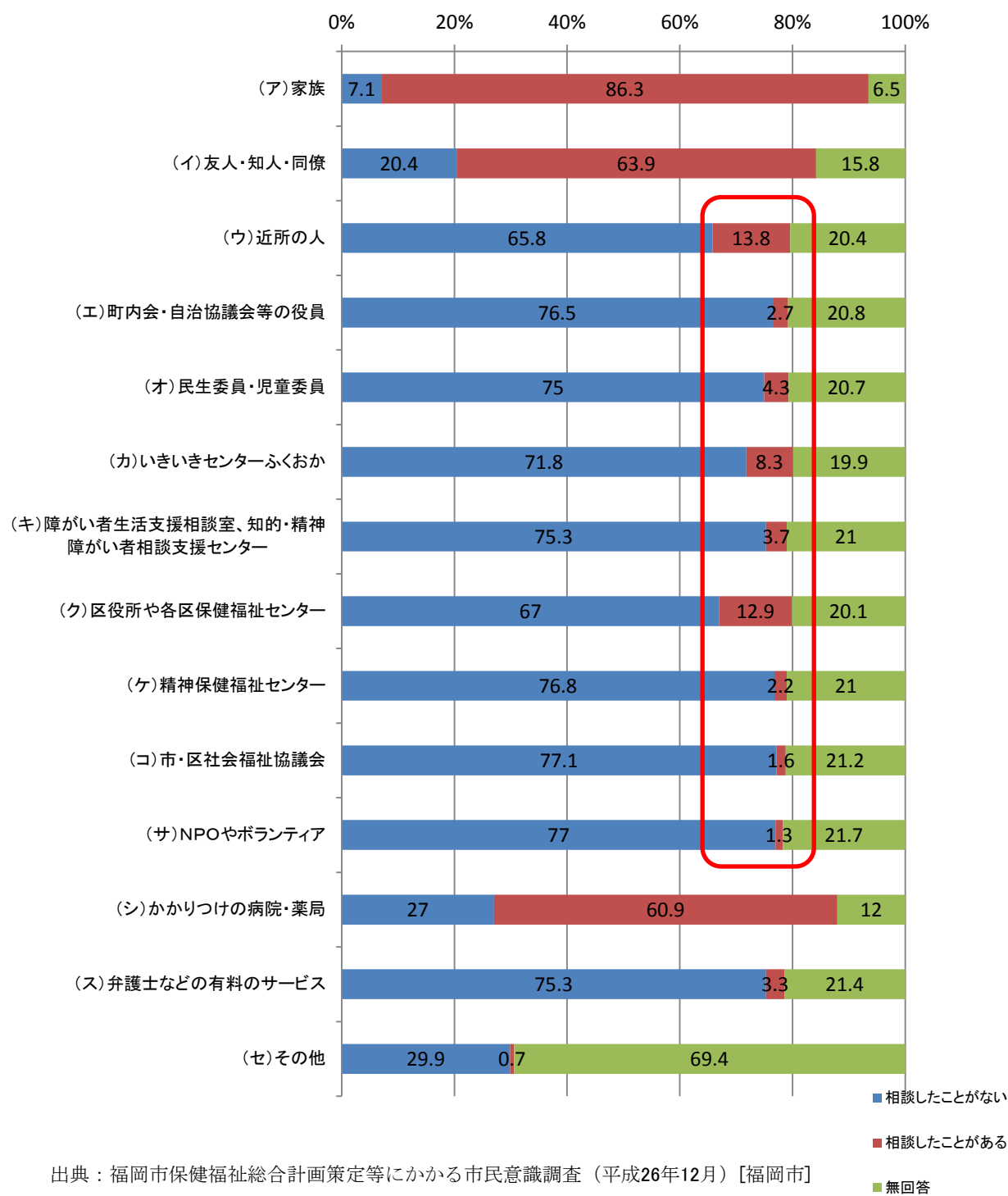
「近所づきあい，防犯，地域の治安など地域に関すること」について，約4割の人が悩みや不安を感じている。



出典：福岡市保健福祉総合計画策定等にかかる市民意識調査（平成26年12月）[福岡市]

悩みや不安についての相談相手

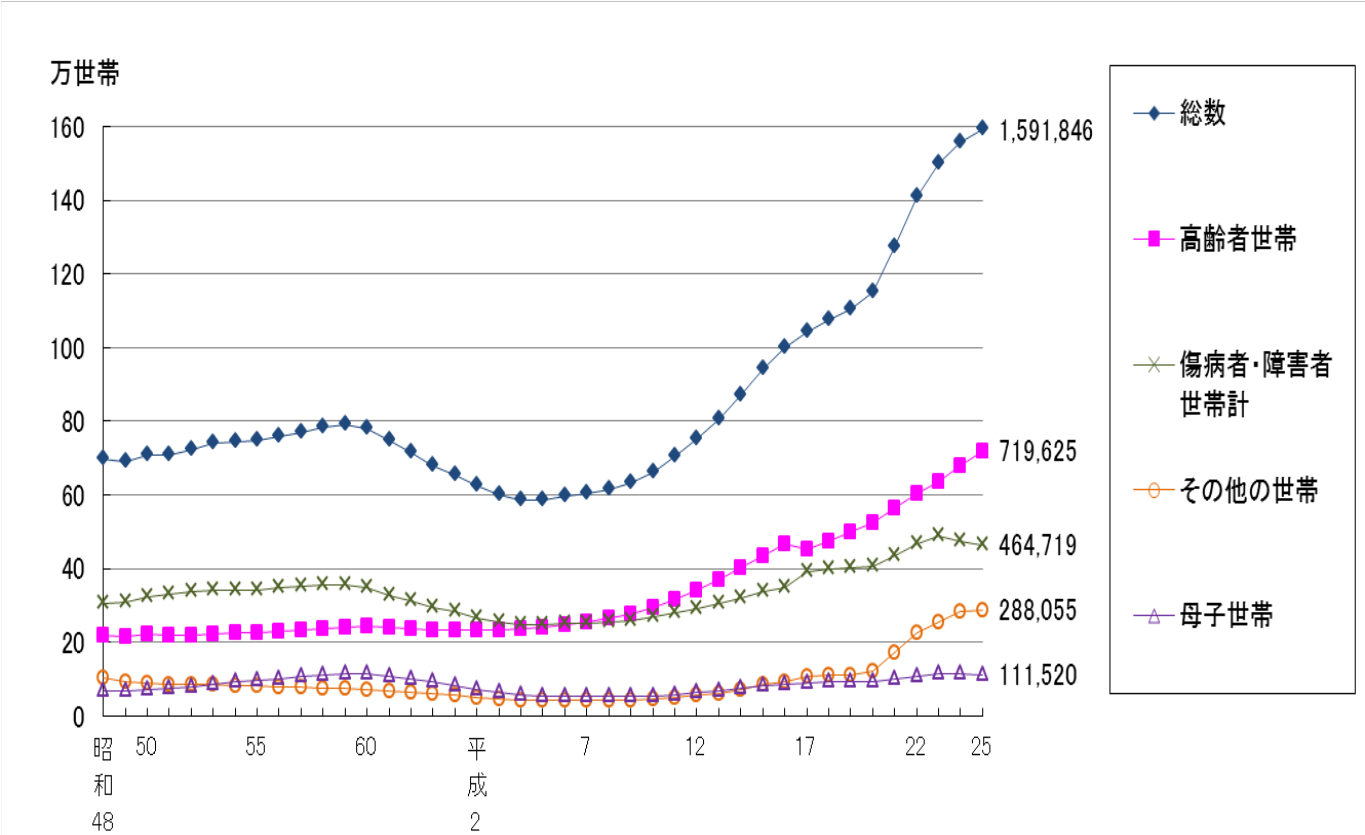
悩みや不安を相談する相手として、地域の人や行政機関などについては、いずれも15%を満たしていない。



被保護実人員及び保護率の推移

平成25年度の全国の1か月平均の「被保護世帯数」は、1,591,846世帯（過去最高）で、前年度に比べ33,336世帯（2.1%）増加している。

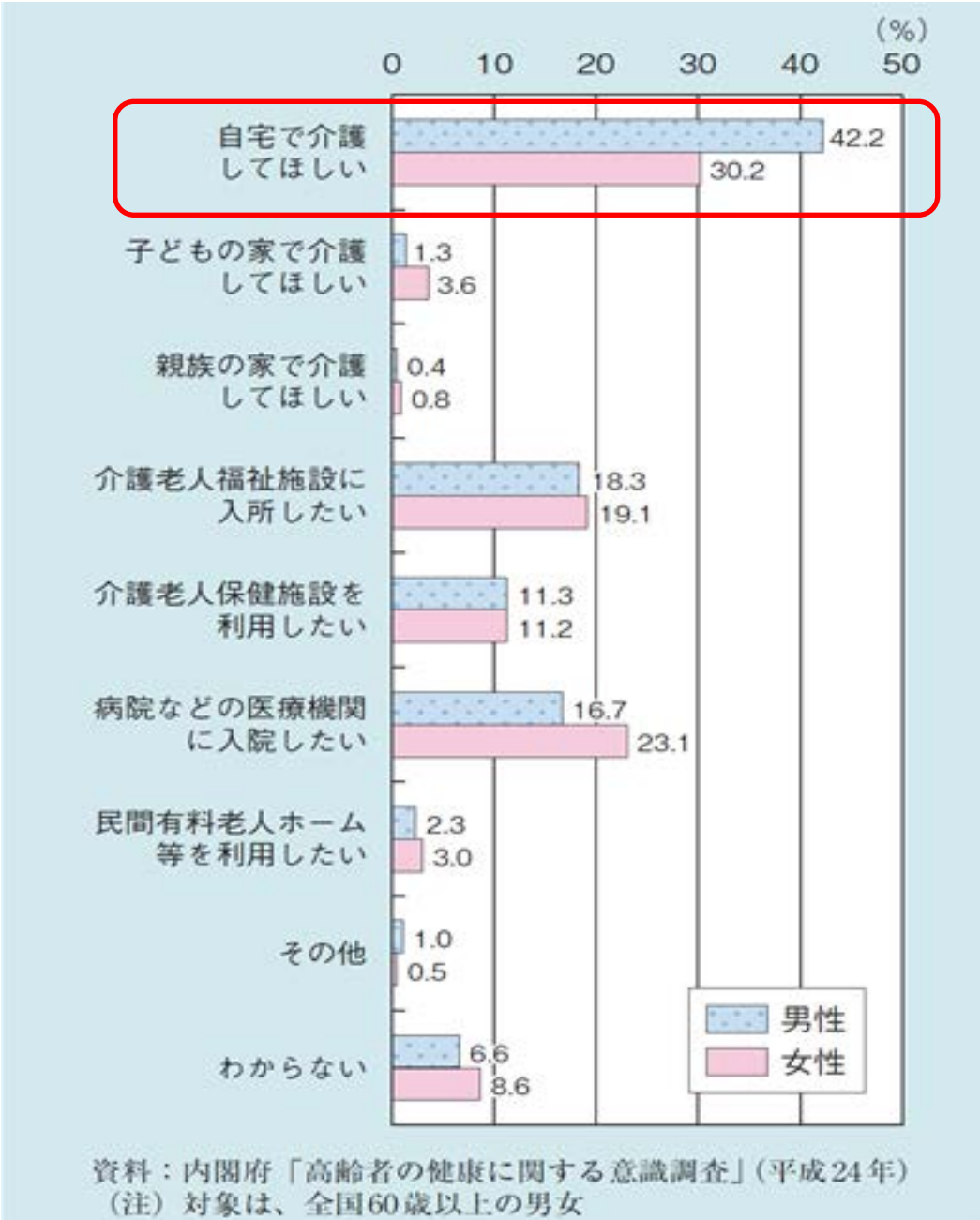
世帯類型別被保護世帯数(1か月平均)



資料: 被保護者調査(平成23年度までは「福祉行政報告例」)
注: 総数には保護停止中の世帯も含む。(各世帯類型別の世帯数には保護停止中は含まれていない。)

介護を受けたい場所

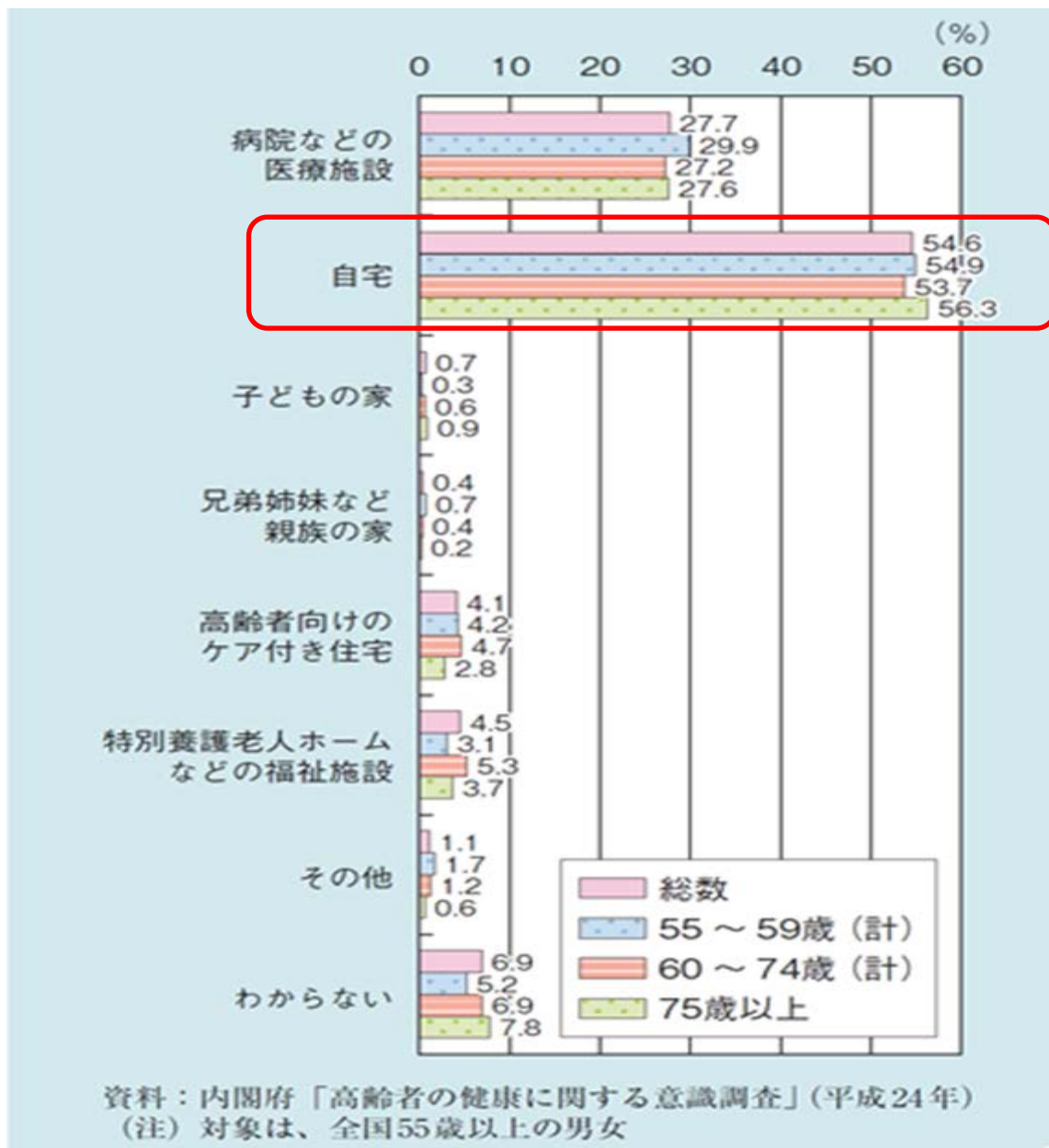
介護を受けることとなっても在宅で生活したいと考える人は多い。



出典：平成26年版高齢社会白書 [厚生労働省]

最期を迎えたい場所

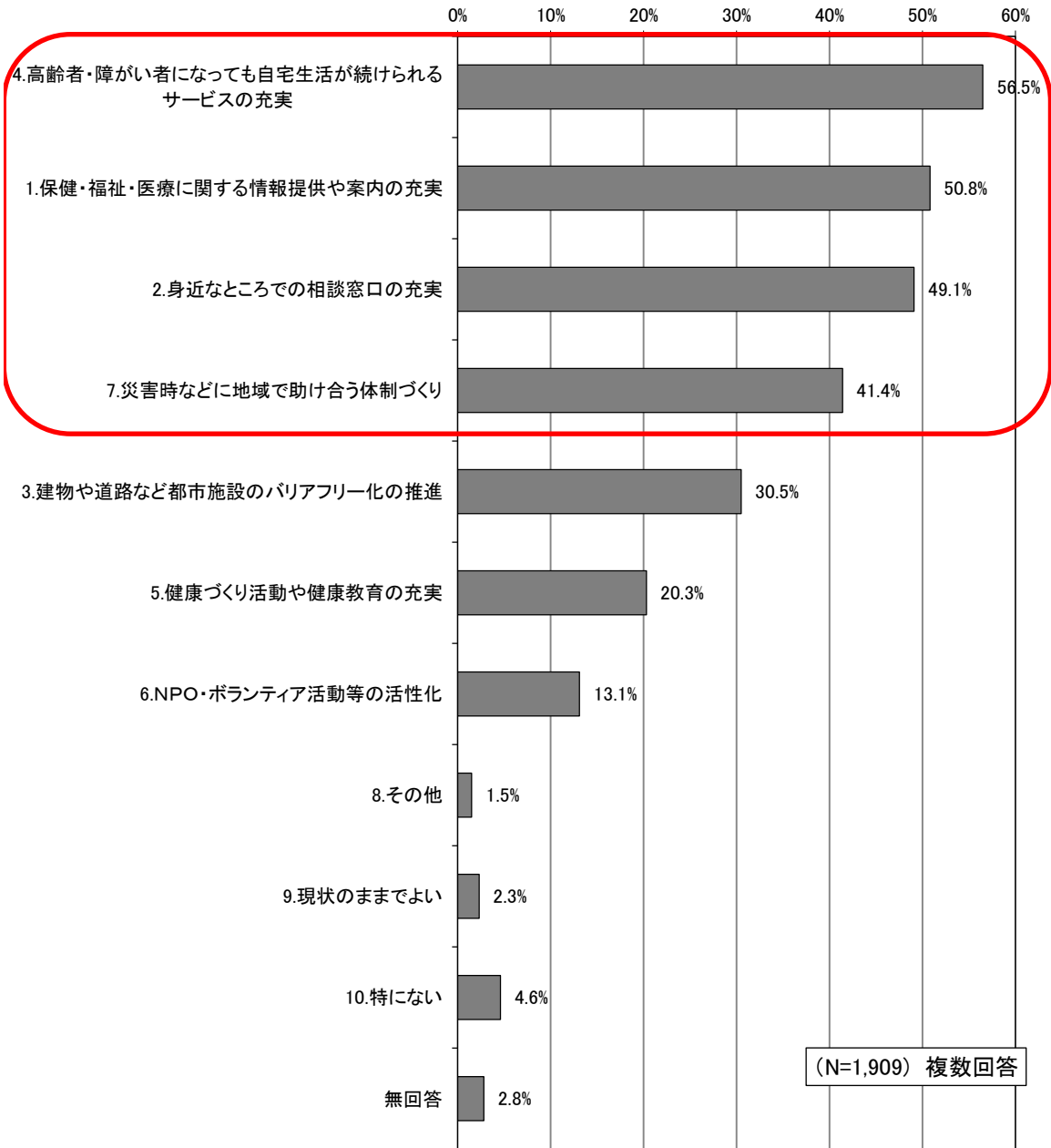
自宅で最期を迎えたいと考える人は多い。



出典：平成26年版高齢社会白書〔厚生労働省〕

住みやすいまちをつくるために力を入れてほしい分野

「高齢者・障がい者になっても自宅生活が続けられるサービスの充実」(56.5%)が最も多く、在宅で生活したいとの考えと一致している。次いで、「保健・福祉・医療に関する情報提供や案内の充実」(50.8%)、「身近なところでの相談窓口の充実」(49.1%)、「災害時などに地域で支え合う体制づくり」(41.4%)となっている。情報の提供や相談窓口の充実が望まれている。



出典：福岡市保健福祉総合計画策定等にかかる市民意識調査（平成26年12月）[福岡市]

福岡市のバリアフリーの現状

施設ごとにバリアフリー化が行われ、連続的なバリアフリー化が図られていない。
また、ソフト面での対策が不十分である。



歩道と建物の境界で誘導ブロックが途切れている



歩道はバリアフリー化されたが、公園の出入口への誘導ができていない



ハード整備が困難なため、地域や行政、警察等が連携して、見守りや違法駐車防止などのソフト面の取組みを行っている

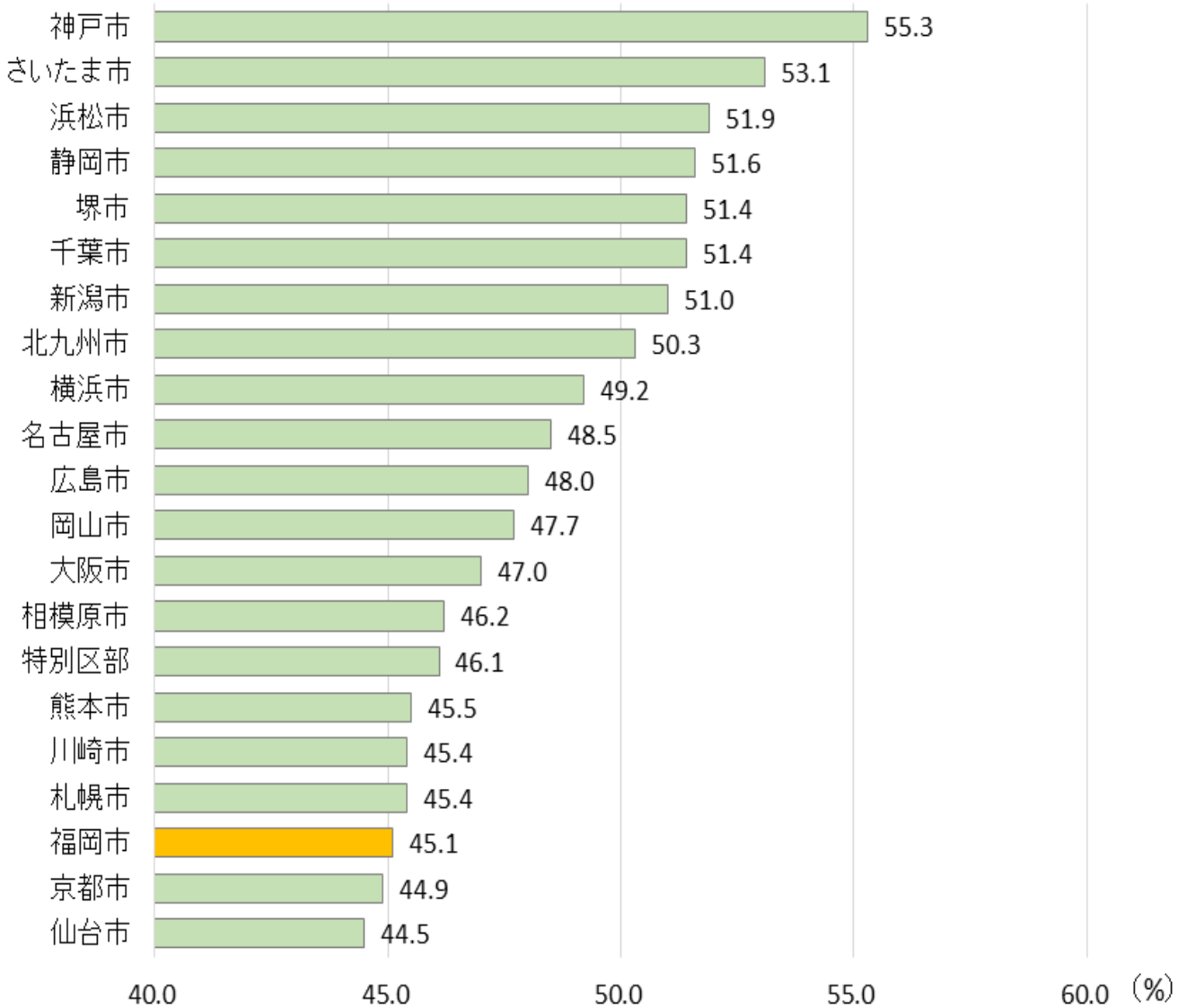


ハード整備が困難なため、地域や行政、警察等が連携して、見守りや違法駐車防止などのソフト面の取組みを行っている

出典：福岡市バリアフリー基本計画（平成25年4月）[福岡市]

高齢者等のための設備がある住宅の割合

高齢者等のための設備がある住宅の割合は、政令市の中で45.1%と低い。



出典：平成25年住宅・土地統計調査結果〔総務省統計局〕

(注1) 高齢者等のための設備…

階段・トイレ・浴室の「手すり」，「またぎやすい高さの浴槽」 「廊下などが車いすで通行可能な幅」

「段差のない屋内」 「道路から玄関まで車いすで通行可能」

(注2) 当該調査結果には，調査時点で高齢者（65歳以上）がいなくても，将来を見越して工事した場合の上記設備も含む。

高齢者の入居を断る主な理由

高齢者の入居を断る主な理由として、「病気や居室内での死亡などへの不安」が約8割を占めている。

主な理由(複数回答)	構成割合
病気や居室内での死亡などへの不安	79.4%
火災や事故の発生などへの不安	50.4%
連帯保証人がいないことへの不安	38.2%
家賃の支払いに対する不安	33.6%

出典) 民間賃貸住宅の管理等に関するアンケート調査 (平成21年度) [福岡市住宅都市局]